

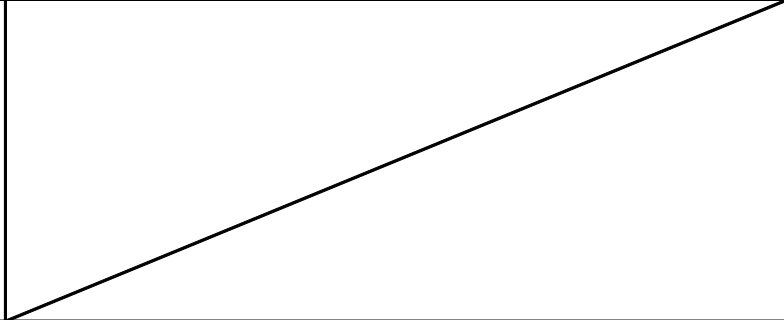
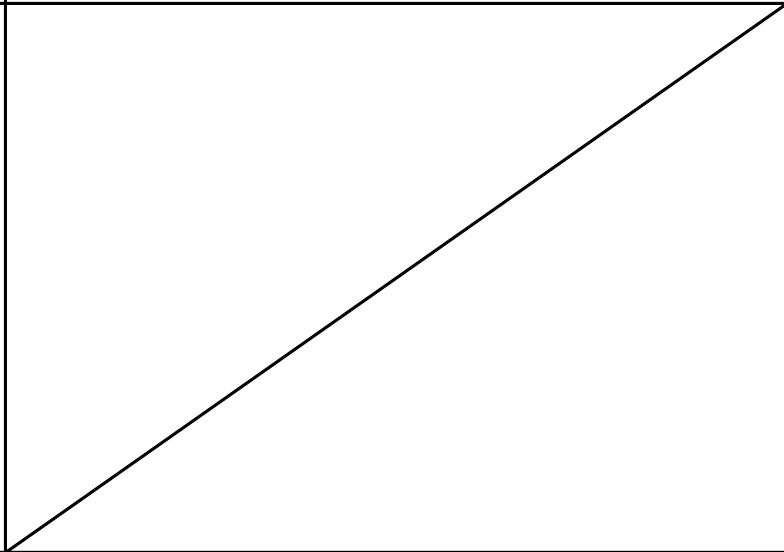
令和4年度 意見交換会で寄せられたご意見等と市の回答について（意見交換会当日）

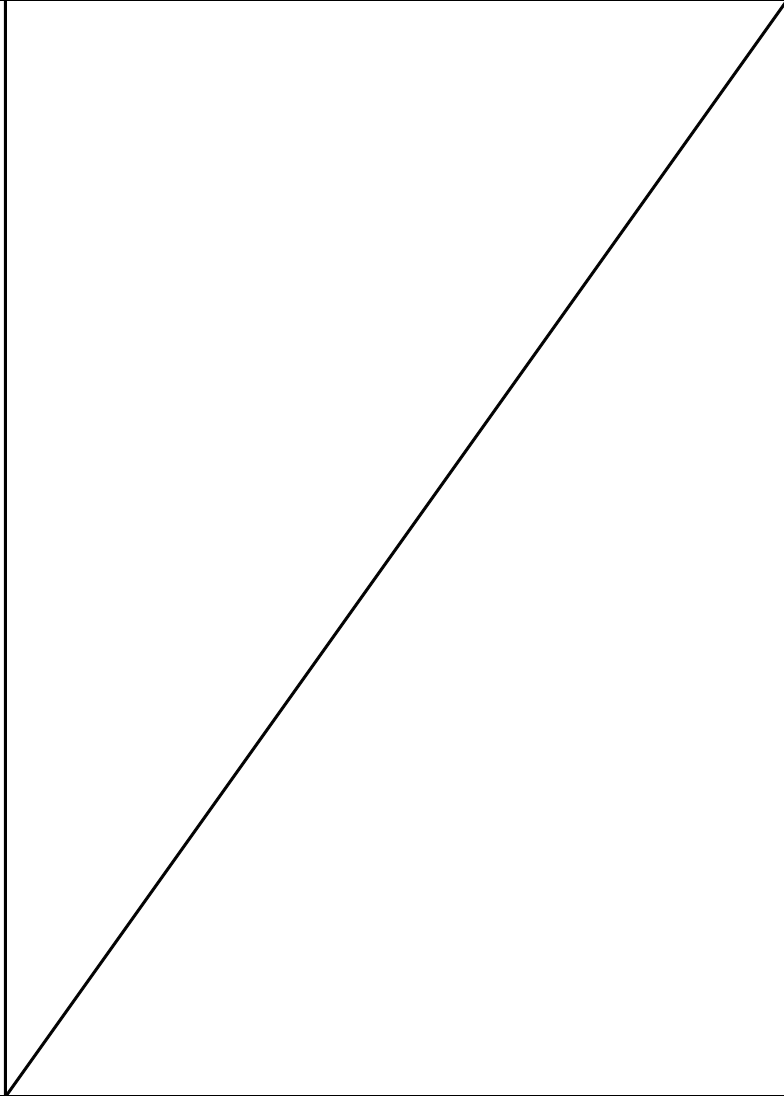
（1）移住・定住の取り組みについて

No	いただいたご意見の要旨	回答
1	18歳から契約できるようになったので、都会に家を借りて出ていく。より高度な仕事になればなるほど、都会に集中する傾向がある。実際、若者が市内で就職できるだけのキャパはあるのか。	
2	フロンティアパーク内の企業は、ほとんど市外の方である。中には、毎日、バスで京都から通ってこられる方もある。機会があれば、定住したいが、場所がないという話を聞く。こういう企業と連携を取っていただきたい。	
3	下馬杉に1家族が移住してきたが、農地を購入するためには、農業委員会の許可がネックになる。この部分を改革していただきたい。農業がしくて、田舎に来る人もいる。耕作放棄地を減らすためには農業をしてもらう方がよい。	前年度から空き家バンクに登録された物件に隣接している農地であれば、その物件を購入・貸借する際に農業委員会の許可を得たうえでその農地も購入・貸借することができるようになっている。また、農地法に関しては農地取得にかかる下限面積を撤廃する改正が議決されたので、来年度からは農業がしくて移住する人でも農地を取得しやすくなることが予想される。住む場所については、空き家の活用、民間の住宅造成、市でも虫生野地先で区画整理事業を進めていきたい。
4	移住者が外に出ていかないように、月500円と自治会費を安くしている。	働く場所については、ものづくり企業の魅力発信や多様な仕事づくりに取り組みたい。
5	農地法の改正はされているが、もう一步踏み込んで、隣接していない農地の部分も改正が必要ではないか。各自治体で人口の取り合いをしている状況なので、甲賀市独自の施策でインターネットのインフラを無料にするなどの取り組みを実施してはどうか。	
6	<p>市内の方から「信楽は暗い街」と言われたことがショックであった。信楽は、グループサウンズの追っかけなど昔は派手な街であり、障がい者などに寛容で受け入れやすい街である。</p> <p>若手の陶芸家もたくさん来られている。最近、陶器産業が斜陽していることもあり、朝宮地区にも空き家がたくさんあるが、そこには陶芸家が住んでいる。また、お茶の季節労働者も年間5か月ぐらいの期間で空き家に住んでいる。多彩な人材が来られているが、活用することが十分できていないため、もっと情報発信ができればいいと思う。</p> <p>現在は、働き先がなくてもリモートで参加できるため、あいコムこうかで10ギガぐらいのフリーWifiを使えるようにすれば、都会からも人が来ると思う。</p> <p>ミホミュージアムには外国人（中国）が多く来ている。</p> <p>信楽には、世界的なシェアを持つ企業も多くある。</p> <p>甲賀市のサテライトとして、もっとアピールやサポートをしてもらいたい。</p>	<p>空き家の活用について、インターネットなどを導入して人を呼び込むことも一つの方法であると考えている。</p> <p>現在、空き家の掘り起こしを進めており、昨年度に空き家活用のアンケートを実施した結果、空き家バンクは4件から18件程度に増えた。</p> <p>移住定住のアイテムとして、空き家を活用する中で、空き家バンクの登録者を増やすことに努めている。</p>

7	<p>妻の実家（長野区）は空き家になっており、家財道具を売却しようと考えているところに、大阪の方から購入希望があった。自分の子どもたちは町外に出ているため、できれば、その人に住んでもらいたいが、どのような人か分からない。しかし、人口減少を抑えるため、誰かに住んでもらいたいと思っている。</p> <p>近年、帝産バスはマイクロバスとなり便数も少ない。大津や草津から新名神高速道路を利用すれば、雲井まで約20分で来れるため、ダムができて、公共交通機関がよくなることを期待している。</p>	<p>公共交通に関して、不便で使いにくいとの指摘もいただき、令和4年度から5年度にかけて市内全域を抜本的に見直すことを進めている。</p> <p>帝産バスの乗客数は、1か月延べ40人くらいである。市からの補助を行っているが、経営は厳しい状況である。</p>
8	<p>浸水被害の件で先週、県と話をした。災害時は勅旨会館となっているが、川より東側は移動することが危険であるため空き家の活用を考えている。</p> <p>しかし、所有者と連絡がつかない空き家もある。空き家バンクの説明があったが、その担当はどこか。また、連絡を市からしてもらえるのか。</p> <p>空き家も増えてきており、空き家を使用することについて個人からは言いつらいため、支援をお願いしたい。</p>	<p>空き家バンクの担当は空家対策室である。</p> <p>空き家の所有者に関して地域から市に情報提供いただければ、市が所有者の調査を行うことから、担当課へ相談をいただきたい。</p>
9	<p>人口減少に関して、学校を誘致し、学生を呼び込み、育て、また大手の企業も誘致して仕事ができる環境をつくれれば、人口減少対策の一つになるとの思いがあり、市としてより強く動いてもらいたい。</p>	<p>小さな地域の取り組みも大切であるが、大きな市の取り組みも大切である。</p> <p>県が進めている高等専門学校の誘致に本市も名乗りを上げており、ものづくり企業が集積している本市だからこそ、その企業を支える人材を育成する機関をつくり、また若い方が来ていただくことで活性化につながるため、積極的に進めていきたい。</p> <p>企業誘致に関しては、新名神高速道路で3つのインターチェンジがある本市の優位性を生かして進めていきたい。</p>

10	<p>18歳で転出し、20～24歳でUターンする傾向がはっきり出ている。これは、大学のために出ていき、また地元へ帰ってくるということであるが、すべてが帰ってくることはない。</p> <p>なるべく多く帰ってきてもらうために、例えば大津駅前に市営の学生会館などを運営し、甲賀市民は優先的に入居できるといったことはどうか。</p> <p>大津からでは、かなりの範囲まで通うことができる。また、大津にいと地元との付き合いも切れない。京都・大阪では、ある程度で切れてしまう。付き合いが残っていると、就職において地元で留まる可能性が高くなる。地元とのつながりが切れない対策が必要である。</p>	<p>地元の付き合いを保つ提案、また子育て支援施策の見せ方も大切であるといった意見をいただいた。</p> <p>市としては、若い方に帰ってきてもらうことが大切であると考えている。地域のつながりの中で帰ってきてもらいたいという思いから、今年度から「30歳の集い」の事業に取り組むことを考えている。これは、甲賀市に縁のある同世代の方が、10人以上のグループで同窓会などを行うことに対して補助するものである。</p> <p>施策の充実も大切であるが、見せ方も大事であると考えている。資料P17にあるように、他市に負けない色々な施策を進めているが見せ方が弱いため、今年度は、移住定住のプロモーション専門官として大手広告代理店から来ていただいているなど、これまでの見せ方とは違った形で進めていきたいと考えている。</p>
11	<p>移住者より定住者への支援に対するアナウンスがあまり聞こえてこない。資料には、いろいろな支援が書かれているが、アナウンスがされていない。</p> <p>定住には、若い世代、特に子どもを含めた定着が大切であると思う。小さな子どもから小中学生への支援、例えば給食の無料化などがあってもいいのではないか。住み慣れたところに住み続けるためには、小さな時から支援を行うことで定着するのではないかと考えている。</p>	
12	<p>愛知県から転勤で拝坂に住んで20年が経つ。</p> <p>最近、県外に出ていた30代の息子夫婦が甲賀市に住みたいと考えたが、希望した土地が公図混乱で融資が受けられずに諦めた。個人では解決できない問題だが、市等の協力を得て対策できたら移住者も増えるのではないか。</p>	
13	<p>拝坂区の話に出ていた土地があるのは神区である。</p> <p>神区は確かに公図混乱地区で私も同じような経験をしている。公民館も今ようやく周辺の公図訂正をしていただいたところだが、大半の土地が同じような状況だと思う。</p> <p>神区の人口も平成2年から約50年間で半減する予想であり、危機感を持っている。</p> <p>そのような中、今月に神区では栗東と名古屋から2世帯が空き家へ入っていただいた。今までも5軒が入られているが、そのうち2軒（4名）は自治会にも入られた。移住して来られた2軒の方も親戚の方からの紹介だった。</p> <p>これまでの事例から移住を希望される方の傾向が分かってきた。大きな屋敷は敬遠され、少し見晴らしのよい平屋で家の前に小さな畑がある空き家を好まれる方が多いようである。</p>	

14	<p>滝区は、市街化調整区域になっているため土地の利用が難しい。 法的な規制があり空き家の利用の場合でも個人的な賃貸はできるが、社宅のような場合は規制がかかるし建築もできない状況である。</p>	
15	<p>油日も市街化調整区域の規制がかなり厳しいと思う。市長も空き家対策の件で規制緩和の話がされていたが、その内容をもう少し詳しく教えていただきたい。</p> <p>それから甲賀市の大部分は市街化調整区域になっているが、基本的に開発とか社宅への利用は不可である。市だけでは対応できないことは分かっているが、それを緩和できるように行政が動いてもらえるとありがたい。例えば愛荘町では、線引きはしていない。そのため人口が増えている。</p>	<p>市街化調整区域については、条例を一部改正して空き家の賃貸利用を可能にする施策を取らせていただいている。また、前年度から空き家バンクに登録された物件に隣接している農地であれば、その物件を購入・貸借する際に農業委員会の許可を得たうえでその農地も購入・貸借することができるようになっている。市街化調整区域の緩和という話もあり、当然、調整区域なので規制をかけているという話であるが、これについては都市計画法上、県の許可等もあるので、非線引きという形をとっておられるところが愛荘町だと思う。また、伊賀市も非線引きだと聞いているので、その辺は今後また調査・研究していきたいと思っている。</p> <p>また、公図混乱の件であるが、甲賀市としても事業を進めるのに大変困っている。道路用地を買収させていただき、土地分筆に多額の費用をかけて公図訂正をしている状況である。</p> <p>また、広範囲に公図訂正をする方法と、それから市街化地域で進めているものだが、国土調査法に基づく地籍調査も今進めているので、その辺についてはまたご相談いただいて、よい方策があれば協議して参りたいと思っている。</p>
16	<p>夜に水口から帰ってくると甲南町までは沿道で電気がついているのに甲賀町に入った途端に真っ暗になる。甲南までは開発されているが甲賀町に入ると沿道サービスはなく、大原市場地先になって少しあるだけである。市内でも甲賀町と土山町は法律に縛られ過ぎているので開発もできないと思う。市街化調整区域の見直しをしてほしい。甲賀町で開発ができるのはなぜか鳥居野だけであるが、地元では公害等の被害を被って困っている。</p>	
17	<p>空き家バンクの登録が非常に少ないということを知ったが、空き家の持ち主に対して登録することのメリットをもっと積極的にPRしていただきたい。</p> <p>五反田でも先月1人の移住希望者と面談する機会があり、協議費の額や年間行事の内容等の話をさせてもらったが、非常にいい取り組みだと思うので、是非ともこういう機会を作っていただきたい。窓口も一元的に管理し、ホームページ等から閲覧できて移住希望者が条件を比較して自由に選択できるようなサイト等があればいいのではないかな。</p>	<p>空き家バンクについては現在もサイトがあるが、十分にPRできていないと思う。今後、しっかりと発信できるように取り組んでいく。また、個別にご相談があればご連絡いただきたい。</p>

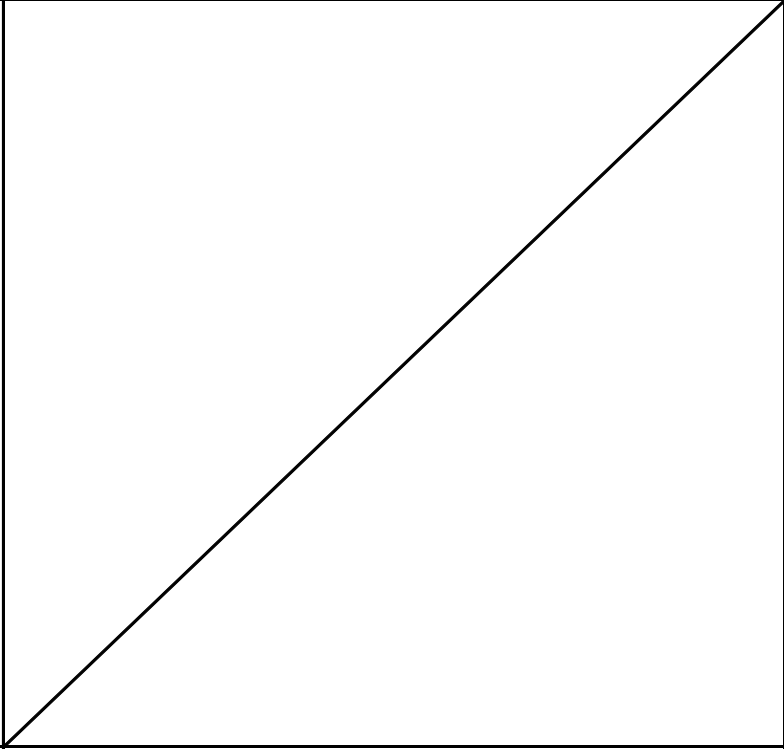
18	<p>毛枚区は戸数が大変少なく現在45戸である。一番困っているのは役員と消防団員の確保である。毛枚区の定員は9名だが、現在は2～3名で後は活動のある時にだけ町外からわざわざ帰ってきて参加してもらっているが、有事の際にどうなるのか心配している。消防団を辞められた方に、引き続いて協議員になってもらう流れであるが、消防団員を辞められないので協議員になってもらえず、区長や三役は何度もやらざるを得ない状況である。</p> <p>現在、区で取り組んでいるのが自治会の規約変更で、役員数を変更をしたいと思っているが、それも少しハードルが高いようで最終的に市長の承諾を得ないといけないと聞いている。去年ぐらいから取り組んでいて今年は本格的に、まず役員数の改定からやりたいと思っているが、そういったことの担当窓口も分かりにくく、手探りの状態である。だんだんと戸数が減っていく中で、他の区と同じように行事をするのは大変ハードルが高いと思うが、そこへまた自治振興会の役員も出すとなると大変だと思っている。</p> <p>毛枚にも他所から定住していただいた戸数が3軒あり、色々アンケートを取る中でも地域の行事に一生懸命参加していただいているし、今後も祭りや美化運動にも参加したいというありがたい意見もいただいているので、何とか皆で考えながらよい方向に行けたらと思っている。</p>	
19	<p>毛枚区の消防団の状況を聞いていて、私も消防団員であるが、本当に厳しいだろうと思う。</p> <p>甲賀市に来て10年目になる。自然もあり、とても住みやすく人間も素敵であるが、その反面、煩わしく感じることもある。</p> <p>10年住んでもまだまだ慣れないが、区長をやってほしいと言われ、その際に断れなかった。地域には頭の固い方や強引な方も一部おり、若い方もいるが意見を言いにくい雰囲気がある。それについては、移住者の会のようなものができて、字と交渉したり、困りごとの相談ができるようなところがあっていいと思う。</p>	<p>役員を選出等で大変ご苦労いただいているのは十分に承知している。そういったことを改善するために将来に向けて若い世代の方も含めて、どうしたら皆の負担を軽減して地域活動や地域コミュニティが今後も続けていけるのか、市民の皆さんとともに見直していく必要があると考えており、私どもも提案をさせていただきたいと思っているので、厳しいご意見でも結構なのでお寄せいただきたいと思います。</p> <p>このままずっと同じことを続けていくと、さらに転出者が増えて人口減少が進むと思うので、今の世代の方もこれからの方も一緒になって将来のことを考えていただきたいと思います。</p>
20	<p>①空き家バンクの登録について、現在、甲賀市のホームページでは売りが12件、貸しが1件あるが、買いたい方は、何件ぐらい登録されているのか。</p> <p>②また、空き家バンクで甲賀市に移住・定住された方の年齢層を教えてください。</p>	<p>①空き家バンクの登録は66件だが、どれだけの方が買いたい、借りたいという内訳までは分からない。傾向としては借りたい方が多い。</p> <p>②年齢層は、若い方では20代、高齢の方では70代ぐらいの夫婦の方など幅広い年齢層が空き家を求めて相談に来られている。条件や用途等さまざまである。</p>
21	<p>土山学区自治振興会では、空き家の有効活用の取り組みとして、今年度、2回目の空き家調査を予定している。持ち主にどうつなげていくのが課題である。</p> <p>1回目の調査では、更地にして売りたいという意見もある。また、移住されても空き家をリフォームする必要がある。空き家のリフォームと解体の支援は、市から何か考えているのか。</p>	<p>更地にして売りたい方のリフォームの支援については、住めない、危ないなどの基準で、一部解体の支援はしている。リフォームについても、条件に合えば、一部助成の制度がある。</p>

22	<p>転出された方の空き家が老朽化して、朽ち果てた場合、だれに言えばよいのか、わからない。近隣の方に影響が及ぶので、甲賀市に報告をしているが、進捗が図れていないように思う。</p> <p>また、国道1号沿いに空き家がある場合、事故につながる恐れがあるので、対策をお願いしたい。</p>	<p>空き家の所有者に対する対応だが、空き家の所有者がわかっている場合は、文書を送付する。わからない場合は、空家等対策特別特措法で所有者を突き止めて、状態を改善するよう指導しており、状態によっては、法的に危険な空き家である特定空き家として認定をし、指導をしている。</p> <p>過去に特定空き家の場合、所有者に対し、何度も会って説得し、解体に至ったケースもあるので、甲賀市としても根気強く進めていく。</p>
23	<p>①資料2 1ページの若者が地方に戻らない理由は、甲賀市から転出した人の意見ではなさそうに思う。私は土山地域から出ていく発想がない。土山地域から転出した人に何故、転出したのか聞いた資料があれば教えてほしい。</p> <p>②資料1 7ページの甲賀市の取り組みは他市に負けていませんとのことだが、転出した人にこの取り組みを示したら、戻ってきてくれるのか。おそらく無理だと思う。この制度で残っている人はいるのかどうか。転出した人の素直な考えや状況を把握しておかなければいけない。</p>	<p>①資料1 5ページの「10年後も甲賀市に住んでいたいですか」の成人式アンケートで非常に多かったのは、交通の便だった。土山地域については、公共交通が非常に大きい課題であると思っている。さまざまな交通施策に取り組む必要があると思っている。</p> <p>②施策の効果は、しっかり検証していくべきと思っている。一時的な支援より、人生全体の支援方法を考えていく必要があり、見える化していかなければならない。転出した方の理由をしっかりと把握したいと思っている。</p>
24	<p>私は資料1 7ページの甲賀市の取り組みを知らなかった。この取り組みの支援をしたからといって、市の人口が増加するものではないと思う。私はどうしたら土山から転出できるかずっと昔から考えていた。その背景には交通の便が悪いことや、昔からの地域の行事が多いといったことがあり、独居老人が増えて、小学生が少なくなっている状況で、これからこの区に住み続ける方が本当にいるのかどうか疑問である。皆様はどう思っているのか。本当の思いを少しでも出していただけたらと思う。</p>	<p>続けていくことも大切ではあると思うが、地域のつながりが強い分、義務的なところが多いのは、若い世代にとっては、負担に思われる方が多いので、そういった意見をしっかりと捉えて、変化に対応していくことが大事であると思う。ゆるいつながりを模索していく必要があると考える。新しいかたちに変えていくために、将来に向けた話し合いをしていくことが重要ではないか。市としては、自治振興会であったり、地域別ランドデザインの話し合いの場づくりを提案させていただいているので、本音で出していただいたご意見は、市も一緒になって考えていきたい。</p>
25	<p>子育て世代は、区長、消防団、神社など住んでいるといろいろな役が多い。交通の便が悪いのは、自動車があれば何とかなるが、区でやらなければいけない役が多いのは、若い世代からすると負担が大きい。</p>	

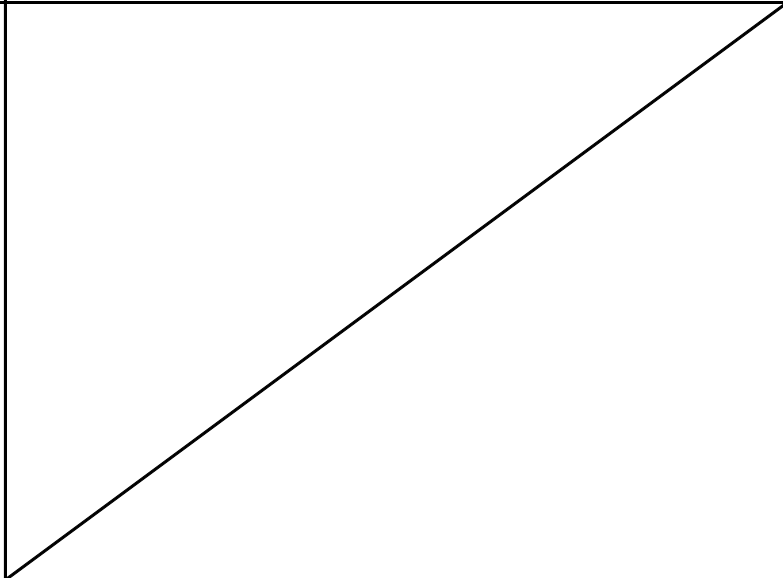
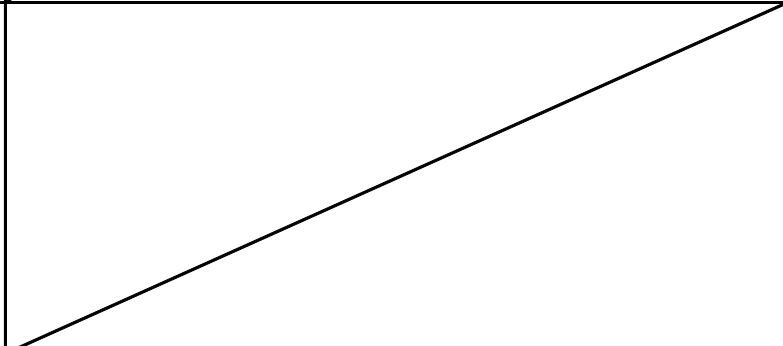
26	<p>高山区にて、10年ほど前に大阪から田舎暮らしをしたいと定年退職された方が空き家に移住された。農業に関心があり、畑で自然農法での栽培(無農薬など)や、水田も少しされた。のちに息子さんも大阪から貴生川近辺にこられ、ご家族で農業をされている。昨年度に稲作農家が1名やめられたため、その農地を借り受けられた。大阪からの仲間を呼び込み農業体験も昨年されていた。貴生川駅もあり、名神のインターまでも15分で行ける非常に便利な土地である。そのような方にどんどん来ていただいて、波及効果が出てほしい。</p>	
27	<p>若い方・中年の方と話しあっているなかで、旧東海道の街道筋で空き家の活用のアイデアが出ている。 体験移住をしてはどうか。例えば2～3か月体験移住を行うことで、課題などがよくわかり、移住者を増やす一つの試算となるのではないかと。以前行政に相談したときは、行政だけではできないとの返答があったが、まさしく市民協働の考え方ということで、今後協働のまちづくりにつながっているのではないかと。</p>	
28	<p>名坂は商業施設などがあり良い場所ではあるが、若い人が出て行っており、旧在所は高齢者・空き家が増えてきている。空き家になったところが売却されて、新しく戸建ての家が建った場所もあったが、旧在所に若い方が入るには、区の役やしがらみなどから抵抗があるのではないかと。新興住宅地に建てるより、旧在所で家を建てる時に補助金などの財政援助が可能であれば検討してほしい。</p>	<p>新しく住宅を建てることについての助成について、現在は難しい。</p>
29	<p>解体するのに費用が掛かるのが空き家増加の理由ではないかと。大体の空き家では、お年寄りが亡くなった後、そのお子様が都会に住まわれており、解体費用など悩まれている間に日数が経ってしまう。家を建てる時の補助も必要だが、解体時の補助金なども検討するべきではないかと。</p>	<p>空き家の解体を促すため、最大80万円の除却補助制度を設けている。こうした空き家を少しでも減らしていくための制度をぜひ活用していただきたい。</p>

30	<p>水口から都会(大阪など)へ行く人がどれだけいるのか、また、都会から何時間の場所ならベッドタウンとして住んでもよいと思うのか等を調査し、例えば、貴生川－大阪直行便をJRに要請する等し、1時間程で行けるような工夫ができないのか考えてもよいのではないか。</p>	
31	<p>住んでいる地域で空き家があるが、地主と話しができないことがある。庭の草について、以前は地主が刈っておられたが、昨年からは区の三役が刈った例もある。行政から地主へ連絡が取れるのか。また、費用などの援助が受けられるのか。</p>	<p>管理不全空き家に対しては、空き家の所有(管理)者調査のうえ、是正措置を依頼する文書の発送を行っている。また、所有者に対する支援として、除却補助を設けており、今年度、新たに空き家バンク登録物件の空き家管理費補助を設ける予定となっている。</p>
32	<p>①空き家の予備軍が相当数ある。10～20年後には空き家が増えると考えられる。</p> <p>②役員のなり手不足が今後深刻化していく。役員をしたがらない、区に入りたがらない人が増えていく。</p>	

33	<p>①規約の見直しを進めているが、若者層が少ない。1組から10組までであるが、人が少なくなっていく。春日と同じでこの先10年考えたとき区が無くなるのではないかと懸念している。一人で住んでいる方も多い。</p> <p>②今一番苦しんでいるのが消防団で、規定人員（8人）の確保ができない（2～3名減）。外に住んでいる人に名前だけ貸してもらっても足りない。他地区では消防団に入ったらほかの役職免除というものもあるが、八田区では重ねて役職を持たないと維持できない。厳しい状況にある。</p>	
34	<p>①空き家、老人世帯が増えてきた。子供が出て行ったあと、父母が年を取ったので帰ってくるというケースもあるが、市街化調整区域などの開発許可などであきらめてしまうことがある。車を2台は止められるようなスペースとして200～250㎡は必要だと思う。</p> <p>②区の役員は順調にしている。消防団や老人クラブは入らないという人も増えている。お宮さんの総代のなり手がなく苦慮しており、2年ほどかけて制度自体を変えようとしている。ただし、従来の仕方で行ってきた人との意見の相違もあり、話し合いの中で合意をもらいながら変えていこうとしている。</p>	<p>市役所でも移住定住につながる地域の教科書作りを考えており、古い習慣に縛られずに見直しができるような提案をさせていただきたいと思っている。また、若い方も住みやすいまちになるようにランドデザインで市役所の職員もしっかりと関わっていきながら、ゆるやかにつながれる寛容性のある地域づくりを進めていきたい。</p>
35	<p>①3年前から行政課題検討委員会を開催している。今年からは少し若い女性も参加していただき意見を聞いている。</p> <p>②独身者が多い。出会いの場を作る必要がある。区だけで出会いの場を設けるのは困難のため、行政の方のお力添えをもらいたい。そうした対策をすることで、人口減少の問題や、空き家問題も解決につながると思う。</p>	<p>区の役員の負担感や行事の見直しについて、区での行事に追われて中長期的な見直しは大変という声もある中で、山区の行政課題検討委員会のような取り組みを行っていただいていることに感謝する。他の地域でも参考にさせていただきたい。</p>

36	<p>酒人区や植区は子供が比較的多く、若い人がUターンして帰ってきているが、その理由を聞くと、お年寄りが寛容ということであった。うまい距離感で付き合っていたのではない。</p> <p>①役員や行事の見直しは1年や2、3年ではできないのではないかなかなか変えられない状況だと感じる。</p> <p>②日本の人口は減っているため、外国人の力を利用するのは大切だが、意識としても対等な存在として考えていかなければいけないと思う。</p>	
37	<p>①酒人区は8組あるが高齢化が進んでいる組と若い人がUターンしている組がある。消防団については団員が多く安定しているが、役員はなり手が少ない。お寺神社の行事が多いなど見直しを進めている。若者のコミュニケーション面では酒人区は強いところもあるが、組によって子供が外へ出ているところは問題もあるように思う。</p> <p>②娘が県外に住んでおり、人が住まない理由を聞くと「草津線」であるとの回答であった。甲賀市は土地も安いので、草津線の交通の便が改善されると京都大阪が近くなり人が増えるのではないかな。これは甲賀市だけの問題ではないので、市や国と相談して進めて頂きたい。また、近江鉄道一本なので効率がいい。マイクロバスを走らせるなど、通学・通勤が便利になるバスの複線化などの工夫ができないかな。インフラ整備をもっと考えていかないと難しいのではないかな。</p> <p>③外周道路（市道）で通期通学時間の車80～90キロ出すので、通学する子供が危険である。ハンプ（凸部）を設置したい。</p>	<p>②甲賀市では、滋賀県と草津線の沿線市町により構成される「滋賀県草津線複線化促進期成同盟会」を通じて、西日本旅客鉄道（株）に対して利便性向上等の要望を行っている。引き続き要望を行うと共に、草津線の利用者を増やすための取り組みの実施について検討していく。</p> <p>コミュニティバスについては、限られた車両台数や運行スタッフの中で運行している。そのような中で、これまでに柏木地区等において、予約制の公共交通であるコミュニティタクシーを導入するなど、利便性を高めるための取り組みを進めてきた。今後については、利用者の意見等も踏まえながら、ダイヤ改正等を通じてさらなる利便性の向上に努めていく。</p> <p>③ハンプを設置したり、狭窄（車道を部分的に極端に狭くする）などの方法がある。ご要望があれば、そういった安全対策の予算を確保をしているので、要望を挙げていただければ現地で確認し、区長様との調整をさせていただく。ただし、一部の方だけでなく、地域での合意形成は必ず図っていただくようお願いしたい。</p>
38	<p>①特定空き家として指定に至るまでに行政が入って空き家の持ち主への法的な手続き支援などをしていただきたい。</p> <p>②空き家を活用しやすくなるように、興味を持てるような市の助成金制度があればと思っている。</p> <p>③守山市では、守山駅前のマンションの住人に、郊外の農村の空き家を週末住宅として活用するように紹介している。こうした住民との交流を機に定住につながるのではないかな。</p>	<p>①空き家の解体を促すため、最大80万円の除却補助制度を設けている。当制度は特定空き家に認定されると補助できないことから、そこに至るまでに解体いただきたいと考えている。</p> <p>②空き家購入補助金や空き家への移転補助金などを本年度から考えている。</p> <p>③前年度から空き家バンクに登録された物件に隣接している農地であれば、その物件を購入・貸借する際に農業委員会の許可を得たうえでその農地も購入・貸借することができるようになっている。この規制緩和を受け、農地付き空き家の活用を図っていきたいと考えている。</p>

39	<p>東近江市の布引運動公園にアイドルグループの「ももクロ」を招致した。その後、「聖地巡り」としてアイドルが泊ったところや観光した場所などに若者が来て、それを機に定住にもつながっている。甲賀市も若者を集客する取り組みをしてはどうか。</p>	<p>今年度から「若者政策プランコンテスト」を計画している。スポーツの森を活かした若者の集客なども含め若い方と一緒に考えていきたい。</p>
40	<p>若者は駅周辺にタワーマンションがあり便利な草津、大津などに出ている。貴生川駅周辺にタワーマンションができるように規制緩和をすべきである。</p>	<p>貴生川駅の利活用に向けて、容積率を上げて高層化を図るなどいろいろな検討をしている。</p>
41	<p>40年前は200軒以上あったが、現在52軒であり。どんどん人口が減っている。空き家を何とかしてほしい。持ち主はおられるが、区長が改善や除去などを言ったところで返事がない。また、どこに住んでおられるのか分かっていないのが多い。市が空き家1軒1軒調べて持ち主に対してどうしましょうというような対応はないのか。</p>	<p>現地確認を行っている。地域に影響が出ているような空き家については地権者を調べ、連絡を取り対策を具体的にお願いしている。しかし、所有権者が特定できない場合もある。その場合は、周囲に影響が出ないようにバリケードなどを設置して対応している。</p>
42	<p>空き家や更地になった宅地が多く、何とか新しい方を呼び寄せる対策を考えていただきたい。</p>	<p>昨年度、空き家の所有者にアンケートを取った。貸したい、売りたい方には空き家バンクに登録を勧め、登録者数が増えた。また、借りたい、買いたい方も増えた。そのマッチングが徐々に増えつつある。</p>
43	<p>水口第4区には空き家だけでなく空き地も結構ある。その対策を何とかしていただきたい。 池田町・湯屋町には曳山があるが、年寄りばかりが曳いている。曳山の存続も含めて空き家・空き地対策を練ってもらいたい。</p>	<p>市では小さな土地区画整備事業として空き地の利活用について検討を始めている。</p>
44	<p>水口第6区の軒数は減ってきているが、まわりに新しい住宅とかマンションがどんどん建ってきている。区のまわりの若い方たちが区に入れば相当な戸数になる。その方たちをどのようにして巻き込むかが我々の仕事だと思っているし、自治振興会の仕事でもあると思う。 区の方では、空き家をどうしていけばいいのか、自治振興会は、まわりの区に入っておられない方にどうしたら入ってもらえるかを、区と自治振興会の両輪で協力しながらやっていかなければならないと思っている。 甲賀市の総合計画では、2028年に人口が87,000人をめざしているところ。水口地域の人口は減っていったのか、また、市の人口について、8年先の見通しを聞きたい。</p>	<p>国の推計によると2028年には、83,000人になるといわれていて、それを87,000人にとどめたいという思いを持っている。 水口地域では、現状は横ばいである。区画整備など、いろんな施策をとることによって人口を今よりは減らない、もしくは増やしていくという方向で考えていきたいと思っている。水口地域は大切な地域であると思っている。 人口減少対策を今後も取り組んでいくとともに、全市的な取り組みの中で水口地域はなんとか減らないようにしたいと考えている。</p>

45	<p>水口第1区から5区の人口の減少は市としてどうお考えか。</p>	<p>減っている状況は大きな課題であると思っている。1回目の選挙のマニフェストでも水口小学校の児童数の減少が市内でも著しいと認識をしていて、総合政策部を中心に、土山宿については観光の再生、水口宿は暮らしの再生をテーマに地域住民の皆さんと話し合いを持って協議の場を設けている。</p> <p>暮らしやすさの部分をしっかり取り組んでいくため、貴生川駅の駅前特区構想と同じ位置づけで水口の市街地をどのように再生していくのかを市の最重点施策として今進めているところである。</p> <p>法的な制限があったり、さまざまな経緯のある地域のため、一気に無理だが、将来を見据えて、暮らしやすく人口の集積が再度してくるような街づくりに取り組んでいるところである。</p>
46	<p>東海道の三筋の町で暮らしている人間は、祭りを起点として1年間動き、シビックプライドで生きているという感がある。</p> <p>定住、移住の補助金は旧町内は対象外であると聞いている。運用的に拡大ができないか。</p> <p>城東では、4戸の区画でも必ず町内会に入るという条件で土地を開発し、家を建てるということになっていると伺っている。私どもの近隣に12区画の造成地にすでに半分以上家が建っているが、3年ほど前に不動産屋と区に町内入りはしないとされた。小学校の遠回りをした集団登校の現状も含め、区入りを考慮した新しい小さな区画での移住対策をお願いしたい。</p>	
47	<p>高齢者の一人暮らしの世帯が空き家になるというケースがある。行政が入り、かわりの中で今後について話をし、それを地域に伝えていただくという制度があればと思っている。</p> <p>アパートが建つまでに区入りの話を行政が入ってプッシュしてほしい。</p>	

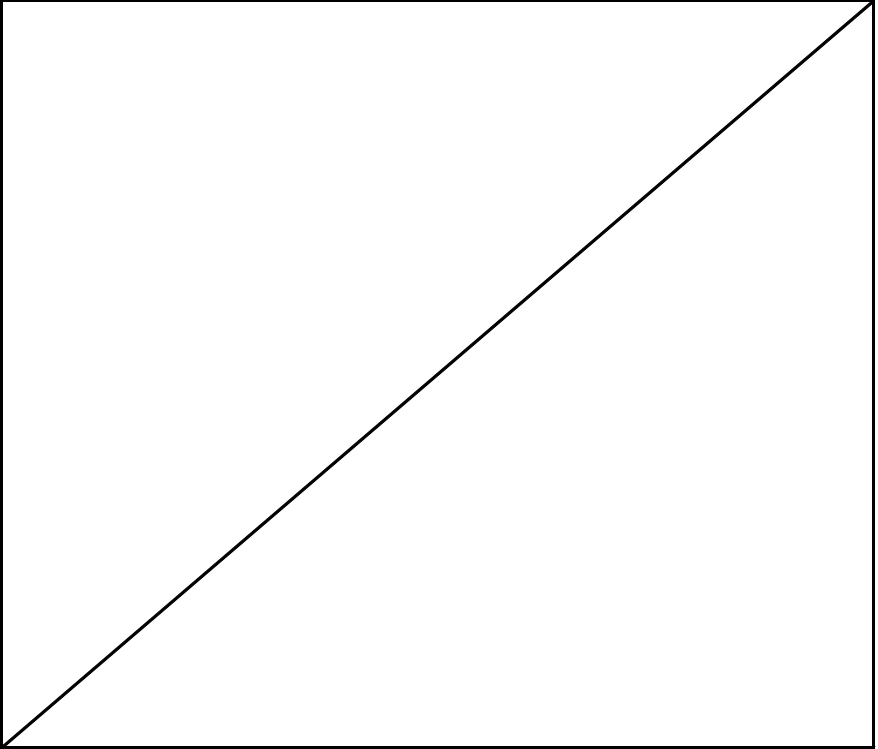
48	<p>宅地開発業者や移住者に対して区入りをするとか新たに区を立ち上げるとか、そのような認可条件は付けられないのか。</p> <p>現在甲賀市に住んでいてこれから結婚をするという20代30代の次男、三男さんなどへのアンケートを取ってはどうか。</p> <p>住宅助成金や空き地を斡旋するなどの制度はないのか。</p>	<p>開発時に区入りを条件とするのは難しいが、必ず要件として周辺地域の住民と良好な関係を築いてくださいと申し上げている。</p> <p>秋葉北の住宅開発については、市もかかわって自治会を立ち上げていただいた。</p> <p>ミニ開発をされるときの、開発業者と話をして、移住者に周辺の区に入るように働きかけをしてもらえないかなど粘り強くやっている。</p> <p>曳山があるということで、その維持のためにかなりの会費を徴収されているということも聞いた。新しい移住者にいきなり求めると、敬遠されるということも聞いているので、若い方にも受け入れてもらえるような緩いつなかりを模索することも検討いただきたい。</p> <p>成人式を迎えた方にアンケートを取っている。移住された方にもアンケートやヒアリングをしていきたいと思っている。</p> <p>町中は難しいが、畑などがある場合、別棟を建てて隣居として住まれる場合が多いので、人口減少には歯止めになるかと思う。</p> <p>守山市の週末住宅も参考にしたい。</p>
49	<p>岩上自治振興会のエリアは水口とはずいぶん状況が異なる。集落の高齢化が進んでおり、居住地周辺の管理ができないので中山間地域の予算を使わせていただきたい。</p> <p>週末に若者が帰ってきて草刈りなどをする場合、ガソリン代などの補助があればありがたい。</p> <p>一つの区だけで環境を守っていくのは無理な状況になっている。振興会全体で特定の地域を何とかできたらと思っているが、費用や人的な面で難しい状況がある。業者に委託できるような予算措置をお願いしたい。</p>	<p>ご意見をいただいている中山間地域にかかる予算については、対象地域を限定した予算であり、岩上地域で活用いただくことは難しい。</p> <p>そのことから、岩上自治振興会において、区長様や自治会長様と協議をいただき、自治振興交付金を活用いただき、地域内の住民型への謝金支払いによる草刈りの実施や実費弁償により担い手不足を補完いただきながら、地域活動の維持への取り組みをお願いしたい。</p>
50	<p>空き家の持ち主にアンケートを取られていると聞いたが、回答を区の代表に教えてもらうことはできないのか。</p>	<p>個人情報になるので、情報を提供することの了解を得られた場合はお知らせすることができる。</p>

令和4年度 意見交換会で寄せられたご意見等と市の回答について（意見交換会当日）

（2）地域の困りごとについて

No	いただいたご意見の要旨	回答
1	赤十字奉仕団や更生保護は、ボランティアであると思うが、実態はあて職になっている。全国的に見ても、滋賀県の登録人数は多い状況である。本来、ボランティアは、したい人がするものではないのか。	赤十字奉仕団について、成り立ちや人数等についての詳細は把握していないが、あくまでもボランティアであると思う。赤十字は、火災や災害ボランティア、ワクチン接種会場でのボランティア等、幅広く活躍いただいております。私自身も地域に奉仕するという思いで、登録した。
2	民生委員の改選時期に来ているが、絶対選出しなければならないのか。業務内容が大変で、60歳超えても仕事をされている人が多いので、引き受けてくれる人がいない。手当を付けるとか、何とか検討してほしい。先日、市に言ったが、返答がなかった。	民生委員の推薦方法は、今までと同じように、地元からの推薦をいただく形をお願いさせていただいている。推薦方法については、検討の余地はあると思っている。地元から推薦いただいた方を市で落とすことはない。民生委員は、地元の困りごとを制度につなげていく役目であり、選出する人がいない場合は、ご相談いただければと思う。選出しなくても、ペナルティはないが、民生委員の役割をどなたかが担っていただく体制を取っていただければと思う。
3	ボランティアとあて職の境目はどうなっているのか。保護司もボランティアであるが、次の人を見つけなければならない。区長は、1年しかしない。その年に、民生委員の改選が当たったら、それをするしかない。圧力みたいなものがある。それで、区長のなり手もない。負の連鎖である。	
4	民生委員の推薦について、地元からは現職の方も含め、推薦する予定をしているが、市での本推薦で落とされることがあるのか。	
5	コロナ禍のイベント開催時の感染対策はどうすればよいのか。具体的に言ってほしい。	市としてのガイドライン、基準については、昨年度は区長様にお示ししたが、今年度はお示しできていない。ホームページには掲載しているので、地域の中で、議論いただき、実施をいただきたい。
6	コロナウイルス感染対策について、市、県としての指針はないのか。現在は、区長判断になっている。	
7	コロナ禍の事業の実施主体はどこなのかということをもう一度考えていただきたい。国・県・市の指針について、ホームページ等で確認し、それを基に、役員等で議論を尽くし、判断すべきではないだろうか。	

8	<p>コロナウイルス感染対策について、ホームページにチェックシート等載っているが、これは全部、実施しなければならないのか。</p>	<p>チェックシートは県、市ともホームページに掲載しているが、あくまでも努力義務であり、感染等の対策に使っていただきたい。地域イベントの開催の判断が大変であるが、感染対策を取りながら、実施していただきたい。昨年は、重症化するケースが多かったが、現在は、重症化はしない状況になってきている。感染対策をしながら、経済活動をする時期に来ている。</p>
9	<p>重症化しなければよいと聞こえるが、どうなのか。はっきりとした指針は出せないのか。</p>	
10	<p>区は、任意団体であるので、判断は難しいと思われるが、区の中で議論し、判断すべきではないのか。市の指針等は、理解を深めていくものではないか。</p>	
11	<p>指針が出ているので、区が判断することである。議論することではないと思う。</p>	<p>重症化しなければよいということではなく、国の治験でも重症化率は低くなっていて、リスクも低くなっている状況であるので、最終的には地域での判断になるので、よろしくお願ひしたい。</p>
12	<p>ひとつずつの行事に対しどうしたら実施できるかを考えながら、無理な場合は取りやめている。実施が不可避な行事はないと思う。参加しないのも、参加するのも自由である。すべて、主催者が責任を負うものではないと思うが、安全に実施するための努力は必要。飲食を伴う事業は、まだ無理であると判断している。</p>	
13	<p>川底の除草と浚渫をしてほしい。浚渫をしないことで、災害につながるのか。</p>	<p>河川愛護活動で草刈りを実施していただいている。県としては、河川の中の草刈りは危険が伴うため、していただかなくてよいとされている。浚渫については、県が判断して実施することになっている。</p>
14	<p>区・自治会と自治振興会とのあり方について、両者の定義をはっきり整理し、示してほしい。</p>	<p>区・自治会と自治振興会の整理、見直しの方向性を一旦示しているが、様々な意見をいただいている。時期にこだわらず、じっくり検討していきたい。</p>

15	<p>市内の区費に開きがある。資料 P 2 5 の区費は、区費のみの金額か、町内会費などは含まれていないのか。 他の区は、どの程度の区費としているのか。</p>	<p>資料 P 2 5 の区費は、区費のみである。 ※当日ほかの区自治会より区費の紹介あり</p>
16	<p>当区ではアレフへの対応に苦勞している。 空き家バンクについて、事前の調査を十分にしなければ、そのような方達が住むことになるとたいへん苦勞することになる。 地域が困っていることについて、弁護士の問題が出てくる。市に相談しても「そのことには関知できない」との回答しか返ってこない。 確かに地域の問題であるが、実際に区は困っているため、市も相談にのっていただきたい。 空き家だけの問題ではないが、例えば山林を業者が購入し、悪事を行った場合、どこに相談すればいいのか。 空き家に関しても、人を住まわせばよい、ということだけではない。甲賀市がアレフの町になってはいけない。</p>	
17	<p>地域区長会において移住定住モデル地域支援制度の事業説明があったが、区への補助よりも移住者への支援を行う方がよい。 すでに移住された方はリフォーム等を行っており、これまでに移住された方への支援もあるほうかよい。 甲賀市の良さを発信するインフルエンサーがいれば、移住者が増えると思う。</p>	<p>この制度の趣旨について、移住者も大切であるが、そのうえでもっと大切なのが定住者である。 また、区や自治会に加入する人、地域に理解のある人に来てもらいたいことから、制度の説明をさせていただいた。 住んでいる方への支援は、子育て応援医療や空き家活用についても U ターンを促進するための補助があるが、定住者への支援をさらに考えていきたい。</p>
18	<p>区内の道路について、当初は開発業者の名義であったものを区名義に変更を行い、現在徐々に市道認定をしてもらっている。 市道認定の道路は市と区が管理協定を結び、その中で日常管理は区が行っている。 レミファルト等は市から提供いただいているが、市道延長が伸びていくと管理が大変になってくるため、管理協定の見直しも検討いただきたい。</p>	<p>協定の内容について、相談いただければ、地域の協力をいただきながら、どのような方向がいいのかを協議させていただく。</p>

<p>19</p>	<p>不法投棄について、この問題は畑区に限ったことではなく、多くの地域でも困っておられると思うが、幹線道路から離れたところ、特に山間地域の道路周辺には不法投棄がたくさんあり、地域の生活環境の悪化が顕著である。</p> <p>次のことについて、今後どのような対策を講じていこうと考えているのかお聞きしたい。</p> <p>①不法投棄監視員の活動強化。 ②不法投棄が多い地点に不法投棄させないような対策。 ③不法投棄があった場合に地域でも回収活動をしているが、大きなごみや大量なものがあった場合の回収対応を確実にしてもらいたい。 ④現状の不法投棄監視員活動状況（回収範囲、回数、人数、委託先の対応状況）や、合併後の活動状況の変化、回収したごみの量の変化などを報告してもらいたい。 ⑤できれば他区にも共有してもらいたい。</p>	<p>現在、県と合同のパトロールや委託による不法投棄監視パトロールを実施しているが、次年度から回数の増加や不法投棄の多い箇所さらなるパトロールの強化を行い、不法投棄対策を進める。（6月14日 畑公民館にて、区長様に質問事項回答済）</p>
<p>20</p>	<p>国道307号の改良について、進捗はどうか。用地の問題など難しい面はあると思うが、頻繁に起こる渋滞を解消するために、できるだけ早く進めてもらいたい。我々も協力する部分は多くあると思っている。</p>	<p>国道307号の改良については、県が行っている長野バイパス、滋賀国道事務所が担っている信楽道路がある。信楽道路では、現在、公図訂正に入っているところである。特に信楽は公図混乱地域であり、その作業の調整を図っている。公図訂正に調印いただければ、次の段階に進んでいくことになる。</p> <p>長野バイパスでは、国道422号の江田地先から信楽駅前までの約1.8kmを優先区間として取り組んでいただいている。用地確保に至らない部分について、県は注力している。</p> <p>工事については、愛宕山の裏の法面の掘削等を行っており、今後については駅前の大戸川に橋梁を架ける工事となる。</p>

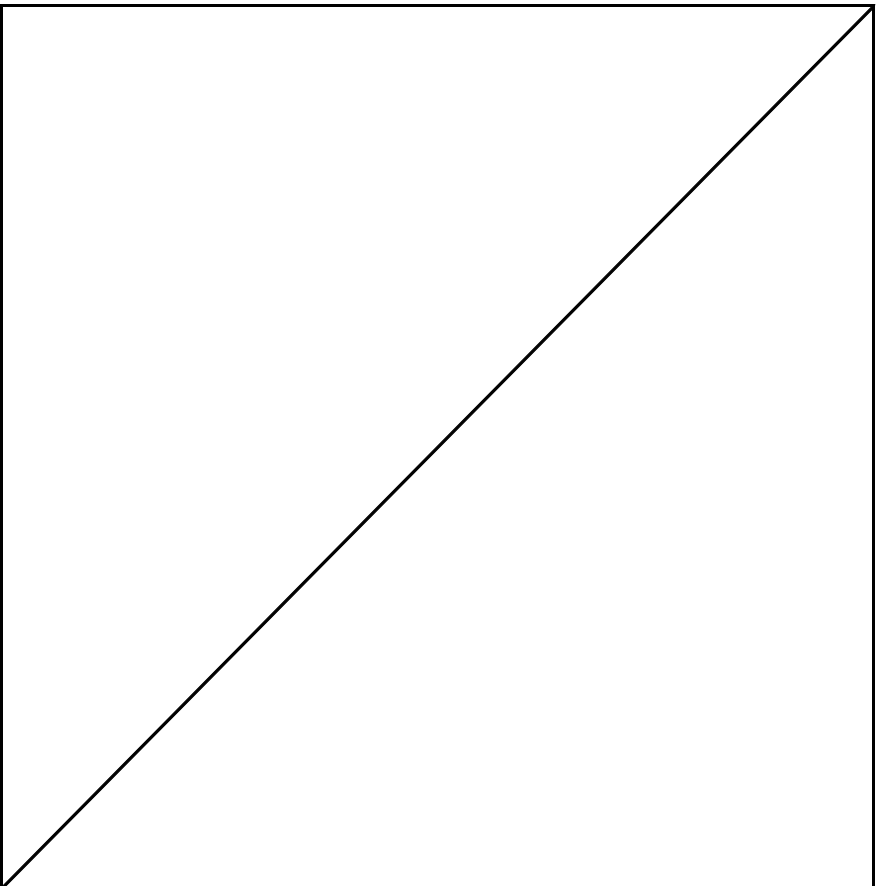
21	<p>信楽インターチェンジ周辺の整備は考えておられるのか。今の状態では、あまりよくないと思う。</p>	<p>料金所から国道307号までは県の区間で、舗装が荒れており修繕される。一部4車線化になっているが、全体ができた場合には完全片側2車線となる。</p> <p>ガードレールで車線を絞っている箇所から長野方面が信楽道路の整備区間となり、工事が完成しだい開放はできるが、部分的に開放すると事故が発生するため、ある程度の距離を確保できれば供用される。</p>
22	<p>小川地区から小原小学校付近への市道は、スピードを出す車両が多いことから、要望を行いガードを設置してもらった。設置していただいたが、抜けている場所もある。</p> <p>施工後において、市は危険性の有無を確実に確認してもらいたい。</p>	<p>しっかりと確認するようにする。</p>
23	<p>要望書を提出しているが、回答が返ってこない。必ず返答してもらいたい。</p>	<p>区、自治会要望は、各地域市民センターから担当部局につないでいる。回答が遅れていることもあり、ご迷惑をおかけしている。</p> <p>回答については、要望書をいただいてから、3ヶ月以内に回答書を提出することになっている。3ヶ月以内に回答書が出せない場合には、その状況を区長等に説明するようにしている。庁内で徹底していく。</p>
24	<p>資料P4の昨年度の意見「住民主体の除草作業が限界にきていることへの行政の考え方」について、住民からの要望としては高齢化などで参加する絶対人数が減少している中での対策ではないかと思う。</p> <p>市は、予算の増額を行っているが、住民ができない部分に関して、業者に依頼してもよいといった予算枠と解釈してよいのか。</p>	<p>河川愛護において、担い手不足は滋賀県下でも議論されている。昨日の意見交換会でも「川底の草刈りの必要性」について質問があったが、危険が及ぶのであれば除草はしなくてよい、との県の見解である。</p> <p>河川愛護の補助に関して、県は機械の導入によるリース代やオペレーター代金の算定の見直しを行っており、ご利用いただきたい。</p> <p>詳細は、担当する建設事業課にお問い合わせいただきたい。</p>

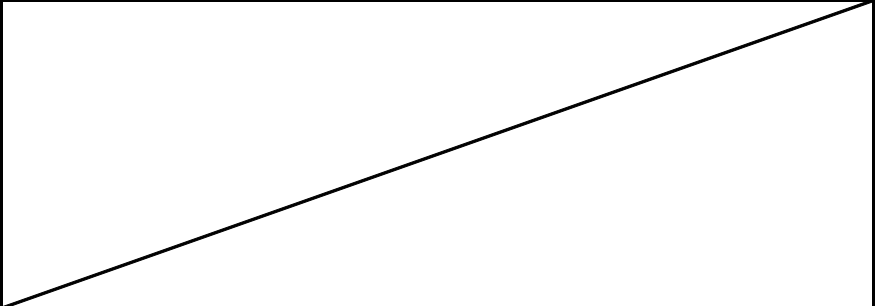
25	<p>河川浚渫の要望を行っても、なかなか実施してもらえない。大戸川につながる支川内に大木が生えているため、浚渫を行ってほしい。</p> <p>従来、琵琶湖工事事務所があったときは河川の構造改善が進められてきたが、以降は全くなくなっている状況である。</p>	<p>市においても、多くの浚渫要望をいただいております。河川管理者の県に進達している。</p> <p>蓄積した砂等による河川断面の阻害を示す「河積率」や、家屋や田畑などの緊急度により優先順位を付けて実施するのが県の考え方である。</p> <p>平成25年度の大きな水害により、河川に土砂が多く流れ込んでおり、県は特に信楽地域の浚渫を進めているが、追い付いていないのが現状である。</p> <p>県の動きが悪いことも現実にあるため、大木の件も含めて県に進達する。</p>
26	<p>文教ゾーンについて、道路や施設の改修がなされることを聞いているが、文教ゾーンの整備を進める中で小学校等の統合は推進できるのか、考え方を聞かせてほしい。</p>	<p>移住定住に限らず、教育環境の在り方は重要な問題である。</p> <p>小学校の再編は、平成26年度に方向性を示し、各地域で話をさせていただいた結果が、令和3年度末に一定出た。各地域から、現時点では現在の状況を存続してほしいという意見が大半であった。</p> <p>信楽地域では5校を1校に総合する当初計画であるが、地域によっては5校は困難であり、近隣での統合は可能との意見もいただいている。子どもの減少が顕著になる中で、子ども達にとってより良い教育環境を考える必要がある。</p> <p>信楽地域においては、現在、1人学級が数学級あり、きめ細やかな指導環境が良いのか、集団生活や切磋琢磨できる環境が良いのか、人によって考え方が異なり、まとまりにくい状況であった。現時点では、各地域から出させていただいた報告に基づいて進めるが、早急な統合は考えていない。</p> <p>信楽小学校の改築については、将来的に全ての小学校が統合されることを踏まえて、今年度に設計を進める。改築工事の計画については、令和6年度から7年度の予定である。</p> <p>ランドデザインにおいて、各地域の意見を聞く機会を持つため、地域の思いを十分に踏まえながら進めていきたいと考えている。</p>

27	<p>甲賀町ではジョイが移動販売をされているが、販売価格は店舗と同じか。多少でも店舗より安く販売はできないか。その分を市が負担するなどしないと買いに来る人は少ないと思う。</p>	<p>市内83か所で2つの業者をお願いして移動販売をしている。市で支援しているのは販売車の準備費用や人件費等である。 販売価格や方法等は販売業者にお任せしていて、例えば店舗で買うのと同じようにポイントを付ける等の工夫をしていただいております、その辺は業者の手腕によるものと考えます。 なお、ご意見をいただいた内容はお伝えさせていただきます。</p>
28	<p>市長のあいさつの中で道路の草刈り予算を昨年度よりも倍増したとのことだが、市に対して通学路の草刈りの要望を毎年出しているが、毎年要望が出そうな場所については草刈りを実施してもらえないか。</p>	<p>約2.4倍の除草予算を計上させていただいている。市が除草を行うのは交通量の多い集落間を結ぶ幹線道路と、集落間を結ぶ幹線道路で通学路に指定されている道路での実施をと考えている。 ※意見交換会終了後、個別に除草実施予定箇所を図面で説明済</p>
29	<p>道路やその周辺に空き缶やペットボトル、家庭用のごみが袋ごと捨ててあったりするのだが、そういうゴミは市で対処していただけるのか。</p>	<p>土地はその管理者により適正に管理いただくこととなるが、道路への不法投棄については、道路管理者と調整し対応するので、ご連絡いただきたい。</p>
30	<p>県道4号線の件で、名神名阪連絡道路の関係でも他県からの大型車両の流入が危惧されると書かれていたが、本当にものすごい交通量で、最近ではコンテナを載せた車両も多く振動で家が揺れる。また、年寄りや子どもが道路を横断するので非常に危険で、現に去年も交通事故が発生している。 スピード（出し過ぎの）抑止の問題、あるいは高齢者をはじめとする歩行者の安全確保、できれば40km/hの速度規制などもしてほしいが、是非とも現場を見ていただきたい。警察や市や県など窓口が色々あるが、どこかで一元的に対応してもらえそうなこともお願いしたいと思う。 区としても今年も協議委員会で話をし、手づくりの看板を作る等出来ることから取り組もうと思っている。</p>	<p>草津伊賀線であるが、交通量を調べさせていただいたところ大型車が大体40%を超えている。日頃から狭い道路を大型車がすれ違っているということで県も十分に状況を理解している。 その中で歩道の設置について色々地域の方々とも協議させていただいた経緯もあるが、草津線があつたり家が隣接していたりと思うように進められないと伺っている。なお、今年度から側溝に蓋がけをするなどの安全対策は県も行っていくとのことである。 草津伊賀線の大型車両の流入への対策から名神名阪の話が出てきているということもある。これについては市長からの話もあつたが、重要物流道路の候補路線への指定ということで、普通は既存の道路を指定するものであるが、まだ計画のない中で指定されたというのは全国でも数少ない事例と聞いており、その中でも名阪国道から国道1号の約12kmについては、計画区間の指定も合わせてしていただいた。これは本当に全国でも稀なケースと聞いている。 今後、また国から地元等へのアプローチもあると思うので、その節はご協力をお願いしたい。</p>

31	<p>自治振興会が発足して10年が経つが、あまり認知されていないことから、グランドデザインの推進ということで、20年先を考えて今年から2年間、月に1回関係者が集まって話し合うことになっている。</p> <p>先日も市職員が来られて第1回目の会議があった。佐山自治振興会は、昨年度と今年度の区長が主に運営をすることになっていて、昨年度の区長の中から輪番で会長を決めている。私も昨年度区長をしており2年連続で自治振興会に携わっている。</p> <p>去年の区長連合会長に話を聞くと、まず意見として出るのは二重行政の問題である。私もこれまでに部員や部長をさせていただき、最後に会長になっている。いざ役員が当たると相当大変な多くの業務をしていかなければならない。佐山では区長と併任しているので、沢山の区長の業務をこなして、その上にまだ多くの用事が加わるということで非常に負担に感じている。</p> <p>過去に10人ぐらいの会長がおられるが、大半の方が仕方ないから役を受けて、2年間辛抱したら交代してもらえろという考えでやって来られている。そんな中でこれから2年間グランドデザインを進めていく訳だが、住民が幸せになるために本当に自治振興会が継続して必要なのかという議論をしていきたいと思っている。それで必要ないという意見が多ければ公式に市に申し出て、要らないという要望もさせていただこうと考えている。グランドデザインの協議ははじまったばかりなので、今後どうなるのかは分からないし、私も推進していかなければいけない立場だとは思っているが、どうも話を聞いていると先輩の方々からは今は要らないし、将来的に必要なが生じたら議論をすればよいという意見もある。自分達は高齢者なので、将来に今の若者から恨まれないよう慎重に進めていかなければいけないと思っている。</p>	<p>平成22年頃からこの取り組みを担当し、これまで自治振興会によるまちづくりを進めてきた中で地域の皆さんにこの趣旨を十分にご理解いただくことができなかったこと、また制度の見直しにも十分に手を付けられなかったことを深く反省している。</p> <p>自治振興会によるまちづくりが地域の皆様にとって負担だ、区と自治振興会の違いがよく分からない、役員をこれ以上出せないなど、様々なご意見をいただいているので、昨年度から抜本的な見直しに取り組んで何とか区・自治会と自治振興会の活動がうまく住み分けできるように、また、自治振興交付金の使い方についても新たな提案をさせていただいた。</p> <p>当初は、令和5年度4月から見直しができると思い取り組んできたが、地域の皆様や議会からも様々なご意見をいただき、拙速に進めるのはよくないということで、もう一度しっかりと地域の実情、地域性の違い等を把握しながら改めて皆さんにとって意義ある取り組みとなるように見直したいと考えている。</p> <p>大原自治振興会長も言われたとおり、自治振興会によるまちづくりとしては、地域の課題解決に集中して取り組んでいただきたい。人口減少、高齢化が進む中で、空き家や耕作放棄地の増加、高齢者世帯の増加、子育て等の色々な問題など課題が沢山出てきている。そうした中で行政だけでは対処できないので地域の皆さんと一緒に取り組むために自治振興会によるまちづくりを提案させていただいており、グランドデザインということで地域の将来ビジョンを描きながら、市職員もそこへ関わらせていただき、若い方達も含めて住み続けられる、住み続けたいと思えるまちづくりにつなげていきたいということで提案させていただいている。市長も冒頭で申し上げたとおり挑戦ということで取り組んでいるところである。もっと市職員が本気を出して地域の皆さんと一緒に取り組む必要があることを痛切に感じており、積極的に取り組んでいきたいと思っている。役員の成り手がなく負担感があるということで、区長様にお願いしていた役職、また色々な委員の選出、そういったことも何とか少しずつでも役割分担等しながら軽減できるように持っていきたいと考えている。</p> <p>具体的には自治振興交付金をもっと地域の実情に合わせて使い勝手のよいように自由度を高めることを検討していく。また、基本的に人口割で配布しているものが多いので、中山間地域の方にも何か加算ができるようなことも考えていきたい。</p>
32	<p>去年の主な意見の中で区の役員の担い手がないと言っているのに、更に自治振興会へ人を出そうということに違和感を持っている。実際、小規模多機能自治ということをずっと言われているが、それが何も効力を発していない。10年経った今、自治振興会が形を変えるかも知れないが、続ける意味があるのか。なおかつ各区の区民達は区費が高いと言っておられる現状である。お金が沢山かかるから住みたくないという理由も考えられる。そのため、同じ費用を自治振興会に渡すのであれば各区にその分を配分した方が賢明であると思う。この先佐山では4区が一緒になることがあるかも知れないが、油日は小さな字がいくつもあり、それが一緒になることは恐らく将来的にもないと思う。そうした中で20年、30年先のことを今から考えないといけないと言われたところで誰がピンと来るのか疑問である。本当に真剣に考えている人がいるのかということも考えてほしい。</p>	

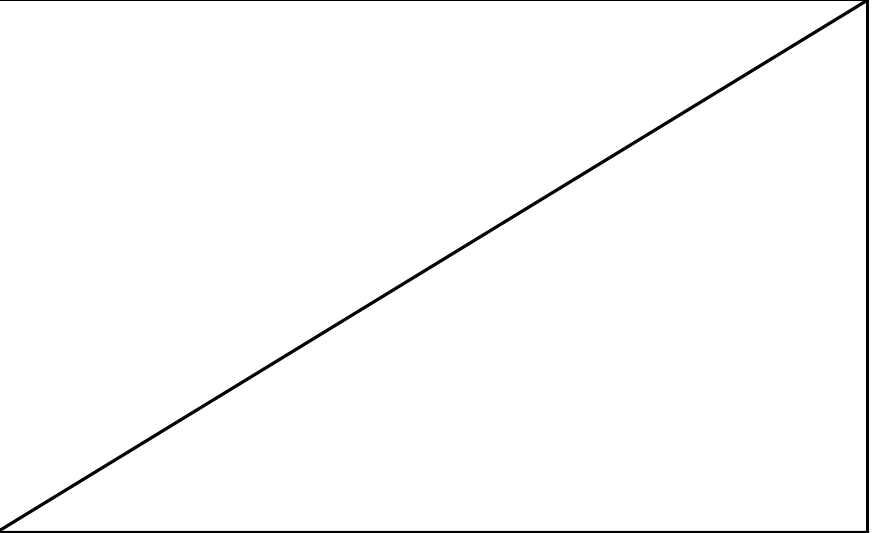
33	<p>大原の場合は、基本的には地域の課題解決を行政の方や地域の団体等を含めて継続的に取り組んでいる。</p> <p>やり方としては5年ごとに学区民（中学生以上）にアンケートを取り、その中から特に要望の多いことについて協議し、課題を一つに絞ったら行政の方や地域の団体、内容によっては区長、民生委員等が集まっていただき、その中で何が課題かということを見つけ整理し、それから次のアクションに結び付けていく。</p> <p>特に長期の案件についてはプロジェクトチームを作って対応し、短期で達成できるものは各部会の方で対応するというので、特に今までの取り組みの中では防災関係、これについては当初はプロジェクトチームからはじめて、各区長も含めてかなり意識が上がってきたかと思う。</p> <p>今、自治振興会が必要かどうか、それからランドデザインの推進という話もあったが、基本的に大原自治振興会ではあまりそのようなことは考えておらず、自分達のやることは地域の課題解決であり、地域の人々のアンケートを基に解決に向けて取り組んでいく。その中で今取り組んでいるのは境界の明確化である。この地域の課題アンケートを取ったところ、農地と山林の今後について年配の方が非常に心配しておられるということがあった。課題としては大きいですが、昨年度から県の事業も入ってもらい、将来的に子や孫に負担をかけないように取り組んでいる。</p>	
34	<p>私は銀行を退職しても8年になるが、その間8年間会計年度任用職員をさせていただいている。人推協の支部にいるが、これも専門職的になりつつあって次の方に引き継ぎできない状況である。</p> <p>その後、総合政策部から結婚相談員になってほしいと言われ昨年やらせていただいている。他にも甲賀学園の理事と評議員の幹事になってと言われ断れなかった。そしたらそれに加えて甲賀荘の評議員をしてほしいと言われて引き受け、その他今度は区長にもなり、ほとんど休む間もなくやっている。一人にいくつもの役を押し付けなければならないような体制は見直すべきではないか。行政が本来すべき事を特定の方たちがほとんどボランティアでやらなければならないというのは見直しが必要だと思う。</p>	

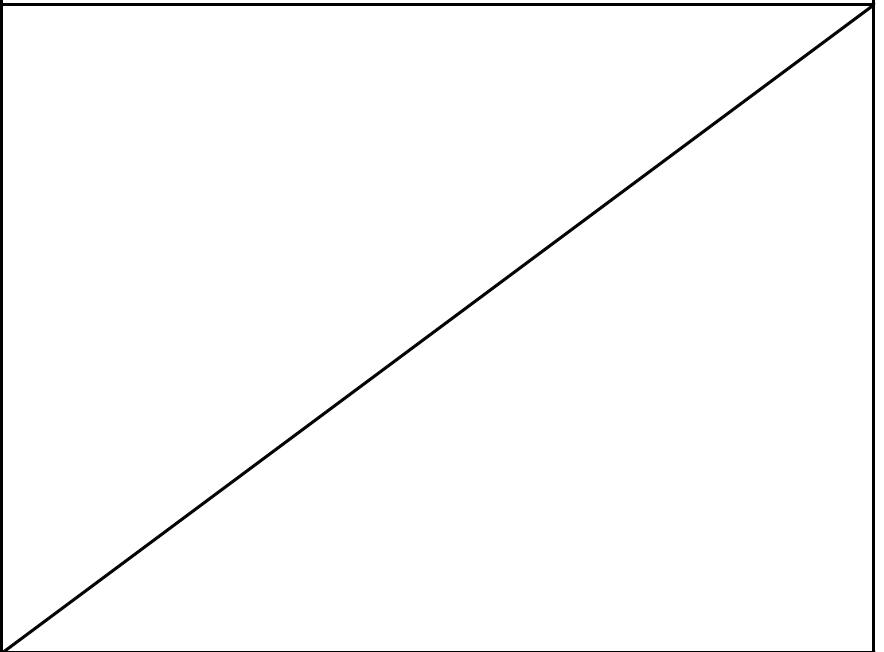
<p>35</p>	<p>私には子供が3人いるが全員が出ていった。出ていく原因の一つに田舎は役がものすごく多いことがある。小さい頃から、いつも地域の用事で出て行っている親の行動を見ているので、ここには住みたくないと考えてしまうということがあると思う。昔の区長・役員は、公民館に皆が集まって遅くまで会議等をするのが美德だと言っておられたが、今の若い人はダラダラといつまでも会議をするのを嫌がる。その考えを改めないと出て行ってしま</p> <p>う。</p> <p>田舎なので地域の付き合いはある程度は仕方ないが、年間をとおして沢山の用事や行事があるのは嫌だというのが現状だと思う。だからといって奉仕作業や行事を全てなくすことはできないが、会議時間もできるだけ短く、皆が幸せになる道を進まないといけないと思う。佐山学区に自治振興会もあるが、また当て職で毎月会議に出なければいけないことになれば、今の時代にそぐわないと思う。</p>	
<p>36</p>	<p>①地域別ランドデザインについて、自治振興会が行政区に変わるという認識になるので、その趣旨をお聞かせいただきたい。</p> <p>②自治振興会が行政区となると、運営委員の役割が大きく変わってくるので、その見解を聞かせていただきたい。</p> <p>③各学区ごとに検討委員会を設けているが、この検討委員会の位置づけがどうなるのかを聞かせていただきたい。</p> <p>④地域別ランドデザインを20年先まで描いてほしいということだが、地域の住民が20年先まで考えなければいけないのか。政策的なことを地域に任せるのは本末転倒ではないか。その見解を聞かせていただきたい。</p>	<p>①自治振興会は、市の自治振興会等規則で位置づけており、自治振興会区域のすべての区・自治会が参画していることとなっている。区・自治会の参画のもとで、自治振興会運営を行っていただいている。また、そのエリアにある関係団体のみなさまと一緒に、課題解決に取り組んでいただいている。行政としても自治振興会活動の支援をさせていただいているが、自治振興会がどうしたら、区と一体化した運営ができるのかを考えていきたい。趣旨としては当初から変わりはないと考えている。</p> <p>②ボランティアの運営委員と区長との立ち位置が違うので、区と一体感がないのではないかと。自治振興会と区・自治会を整理して、細かい部分を把握するなかで、どうかたちであれば運営できるのか検討していきたい。また、費用弁償についても考えていく必要があると思う。</p> <p>③ランドデザインの検討委員は2年間をお願いしているが、2年間に限らず、じっくり考えていただきたい。検討委員会のメンバーは自治振興会役員を中心に、比較的若い方も入っていただいて、検討委員会が別の組織だと思われぬように、自治振興会での取り組みを区長会等で報告していただき、地域の中で、共通認識していただきたい。市職員もしっかり入ってサポートするので、地域で取り組んでいただきたい。</p> <p>④市域が広く、地域事情は様々であり、一律一辺倒にはいかない。課題解決もそれぞれ違うので、地域へ市の職員がいらしていただき、地域と一緒に進めていきたいと考えている。</p>

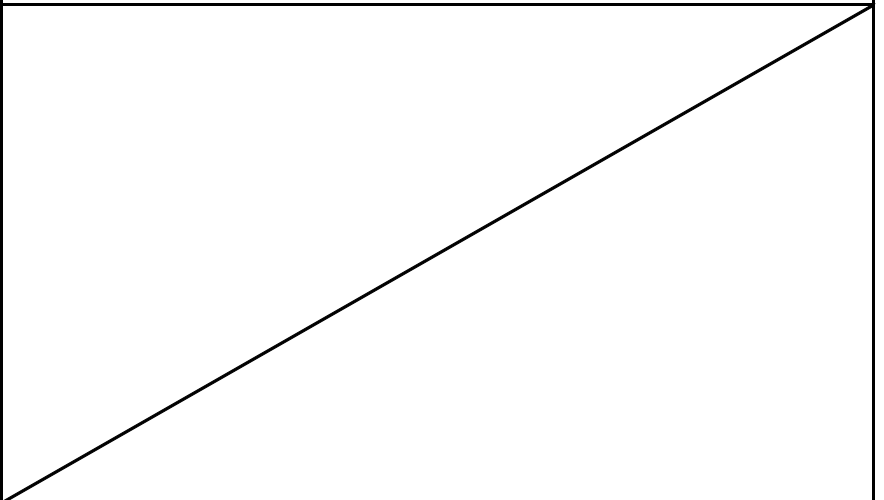
37	<p>①区長になって分かったことだが、あて職が多いので、必要なあて職を整理する必要があるのではないか。</p> <p>②若者の将来について、いろいろな可能性があるのであれば、転出を妨げるものではないと思う。</p>	<p>①あて職が多いことについては、いろいろな団体等もあるので、それぞれ把握しながら、見直すべきところは見直さないといけないことを認識しており、検討を進めていきたい。</p>
38	<p>①上の平区も高齢化がかなり進んでいる。荒廃地になってきているところもあるが、区の取り組みとして、花を植えたり、きれいにしている。上の平区だけきれいにしても、地域外も何とかしたいところもある。例えば、休耕田のところ、鳥獣害柵がないところもあり、対策が不十分なところもある。広域的に取り組める制度を考えていただきたい。</p> <p>②市道と国道が交差するところで、市道から右折する右折だまりがあり、待っている車に対して、国道から左折した大型車がうまく曲がれない場所がある。地域としては、県なり市なりで考えていただきたいとの意見がでてきたが、そのことについての回答がないように思う。地域から要望書を提出していただきとのことだが、わかっているのであれば、方策を練って、こういうことを取り組んでいきますなどの経過等を地域に返していただきたい。</p>	<p>②山中地先の市道と国道の交差点の件につきましては、国道の管理者である滋賀国道事務所には話しをしており、新たに用地を取得して、交差点の形状を変えていくことについては、時間が相当かかるので、現在できる対策の提案もいただいていることから、協議しながら詰めていきたいと考えている。経過等、途中の報告が不足していたことについては、お詫び申し上げる。</p>
39	<p>堂山公園の草がかなり伸びている。公園内のほか、周辺道路でも草が生い茂っており、歩道にも枝葉が伸びているので、対策を考えてほしい。もし市ができないのであれば、地域が市と協力して、例えば区に依頼していただく等も考えていなければならぬ。</p>	<p>歩道に伸びている枝葉は令和4年6月23日に剪定させていただいた。公園内の除草については年2回シルバーに委託している。しかし年2回の除草では十分な管理とは言えず、地域の方にもご協力いただいて維持していると感じている所である。今後についても地域のご協力をお願いしながら、地域では出来ない高所作業などを市の方で対応していければと考えている。</p>
40	<p>交通の便や企業誘致など、働く環境も必要である。そのような環境づくりをトータル的に考えていかないとけない。</p> <p>道路の凸凹がひどく、毎年要望を出しているができていない。優先順位はあるが、一つひとつ着実に、具体的に見えるようにしてほしいと感じる。</p>	
41	<p>民生委員の推薦について、誰もいない場合、何も知らない者が受けていいのかわからない方を推薦することでもいいのか。民生委員は出せないという極論でもいいのか。</p>	<p>民生委員のなり手がいないという話は各地域で聞かせていただいている。どうしてもなり手がいないという場合、今現在ない区も実際にはある。何か、うまくつなぐルールを作ってカバーするなど、ご相談させていただきたい。</p>

42	健康推進員の選出も、区に押し付けるのではなく、市のほうで嘱託職員を置くなどの対応ができないか。	健康推進員について、これまでの経緯を引き継いで、区に何人というお願いをしてきたが、今年はそれをやめた。見直しの時期だと思っている。市内で470人おられる。新たに強制的に増やす必要はないと思っている。時間をいただいて、考えていきたい。
43	健康推進員や消防団員について、なり手がおらず、長い間欠員になっている。申し訳なく思っているが、どうしたらいいのかわからない。	消防団の確保にご協力をいただき感謝申し上げます。これは全市的、全国的な問題であるが、地域防災力にとってなくてはならないものである。活動の見直しや退団者の活用など、団と話し合い努力している。難しい問題だがご協力をお願いしたい。
44	課題解決のため、優先順位を決めるか、市の財源を増やすことが必要ではないか。市ができることはないかということで、国からの財源を確保するなど、言うだけではいけない。考え方を変えていく必要がある。	ご要望にお応えするための財源については、職員も頑張ってくれており、国県からの特定財源も市長就任当初よりも多く獲得ができてきている状況である。また、ふるさと納税についても、大幅に増えていくことで、新サービスにつなげていけるような好循環をしっかりと生み出していきたいと考えている。
45	水口西保育園の跡地が放置された状態である。防犯灯もなくなっている。新しい施設については、今後の活用の方向性について、地域住民と話し合っただけだとありがたい。かつ早期に検討も願いたい。	水口西保育園については、市の中心部にあり、大規模園でもあることから、万一の不測の事態に備え、廃止ではなく休園扱いとしている。防犯灯については、園の専用駐車場を照らすための電灯であり、休園に伴い、電気代節約のため電気を止めていることから点灯していないものである。水口西保育園の施設照明が無くなる関係で、防犯灯の設置が必要な場合は、立地が区内になるので、区での設置をお願いしたい。 なお、水口西保育園については、ここ数年で廃止、解体する方向で検討しており、跡地活用についても、市として方向性を示してまいりたいと考えている。
46	貴生川小学校の朝の通学時間帯で北杣橋を渡って小学校に行く児童と、逆方向で渡る中学生・高校生のすれ違いが非常に危険である。歩道も狭い。通行人専用の橋の計画があると思うが、そちらを前倒しでできるだけ早く進めていただきたい。	状況については十分に承知しており、橋についても県への要望活動をしている。県からは検討しているという回答だが、今後も積極的に要望していきたい。
47	信楽高原鉄道の土手の草刈りについて、牛飼地先の土手が含まれており、今まで45戸が草刈りをしていた。田んぼや畑・家を持っていることから、環境美化のため何十年前前から行っている。そのうち、25件が70歳以上、15件が60歳以上、残りが60歳に近い方がしている。あと5年経てば大変な状況になる。この草刈りを何とかしてほしい。管理が市となっていると聞いた。斜面は危険で体力もいる。石も多く条件が悪い。今後市としても検討してもらえないか。	次年度以降、業務委託等による対応を検討する。（別途区長様への回答をさせていただいた。）

48	<p>泉区に廃棄物事業者が相次いで進出している。生活環境課にも相談に行っているが、毎年異動があり、うやむやになっており困っている。区民からも要望が出ている。県道からみたら自転車がいっぱいである。さらにそういった事業者が増えるのではと心配している。</p>	<p>当案件については、現場も確認しているが、敷地内に置いてあるものについては今すぐ撤去の指導を行うことはできない。県環境事務所と連携し、引き続き注視していく。</p>
49	<p>Uターン者の定住が数件あり、娘が帰ってくるパターンが多いように感じられる。 役割については、若い方も元気に頑張ってくれている。行政のOBもあり、意見も聞きながら進めている。</p>	
50	<p>①一人暮らし世帯が増えており、若い人の担い手不足が問題となっている。氏子青年会の後継者も年々減っていて、高齢化が進み神輿がかつげない等、神社の行事などにも影響している。また、農家の後継者不足が課題であり、耕作者がかなり減っており、20軒を下回っている。こうしたことから、区組織を見直す時期と考えている。</p> <p>②北脇公民館前の交差点は1灯式の信号であり、警察にも要求しているが、事故の多い場所であり、中高生の通学路でもあるので、交通量を減らす対策がほしい。</p> <p>里北脇の交差点でも事故が多い。注意看板はあるが中大型車が入ってくる。県道の渋滞解決があるとよい。交通量が多いので、う回路をつくる等、何らかのかたちで交通量を減らす対策をしてほしい。</p>	<p>①当該箇所については、令和4年7月に甲賀市子どもの移動経路安全プログラムにおいて点検を行い、現在、警察・県において周辺道路の狭さく等の対策が検討されている。今後は、警察及び県により対策が進められているので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>②警察に確認したところ、里北脇交差点からの侵入口には大型貨物自動車等の通行規制が実施されており、普通車を含めた自動車の通行規制等、これ以上の規制は難しいとのことであった。う回路については、1号線等へ通じる道路は既に複数あり、現状、新たに効果的なう回路の整備等は難しいと思われる。里北脇交差点においては、本年7月に警察・市・県等の関係機関が現地へ赴き、交通量を減らすための有効な対策を検討した。現在、警察及び県において道路の狭さく等による対策が検討されておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
51	<p>団地で50年前は活気にあふれていたが、寂れていく一途である。一人暮らし世帯も増えている。</p>	

52	<p>集合住宅の3棟のうち1棟が外国人であるが、外国人は文化も違うため、誕生日のときには人が集まり、騒がしさは大変なものである。それだけ外国人の仲が良いのはわかるが、迷惑を顧みずというのが多々ある。日本人も地元の人がおらず、役員のなり手が少ない現状である。外国人は役をやらない（もしくはできない）ので、困っている。</p>	
53	<p>①高齢化が進んでいる。75歳以上の世帯が約半数になっている。5年～10年後を考えると非常におそろしい。</p> <p>②野洲川に面した団地であり、メインの入り口は一つしかない。大きな水害に備えて今後入り口をもう1か所設けたらという意見があり、今後考えていかなければならない。</p> <p>③コロナ禍において唯一の地域でのコミュニケーションの場である夏祭りのイベントが開催できていない。また高齢化により人員の問題もあり、縮小や止める話もある。コロナにかかわらず地域での行事ができなくなっている。地域での見守りも課題である。</p> <p>④アレフの信者が住んでおり、抗議活動のなかでご協力をいただいている。今は自治振興会が主になってやっているが、発端からすると20年以上である。住民としては長い間不安に思っているが、その不安が常態化してしまい慣れてきてしまっている。昨年・今年と関東の足立区と世田谷区に視察に行って話をしたところ、我々がほぼ住民主体でやっているのに対して、東京では行政が主体になっており、差を感じた。担当課の課長とも情報共有しながら話をしたが、今後何らかのかたちで甲賀市もバックアップをしてほしい。抗議活動の強いところは信者も住みにくい。甲賀市では土山・信楽にも信者がいるが、抗議活動をやらないとアレフ信者が住みやすい環境になってしまうのではないかと。今後は行政も我々のほうに寄り添っていただきたい。</p>	<p>②大きな水害等に備えた避難道路が複数あることは理想的ではあるが、現時点において新たに設けることは大変困難である。このことから、現在の避難道路を混乱なくご利用いただけるように、台風や大雨で洪水等の被害が予測される場合には、早い段階で避難を開始していただけるよう、タイムリーな避難情報の発信に努めていくので、地域の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。河川の氾濫については、氾濫を未然に防ぐため、一級河川管理者である県に計画的な河川整備を実施するよう要望していく。</p> <p>④現在、オウム対策委員会の活動に対し補助金を交付させていただいているが、今後は情報共有の強化を図るとともに、より一層、市民の方に寄り添った対策ができるよう、他部局とも連携して検討していく。</p>
54	<p>①人口は増えている。入区している人だけで600～700世帯ある。行政に依頼する要望などはとくにないが、苦情としてよくいただくのはゴミ出しや犬の糞の放置等のマナー違反での苦情が多い。回覧で啓発しているが、一番の課題である。</p> <p>②外国籍の方も増えている。言葉の壁による意思疎通がむずかしい。</p> <p>③今年から地域防犯カメラ設置補助があることを知った。補助の条件等を教えてほしい。</p>	<p>③6月23日に、補助金交付要綱、ガイドラインを区長様宛送付しました。受領済であることも電話で確認している。</p>

55	<p>①入区や住所変更のときに区が変更になったとき区に入ってくださいというのを力強く言ってもらいたい。日本語だけでなくポルトガル語などでゴミ捨ての案内など市のほうでも住所変更のときにやってもらいたい。</p> <p>②アンケートをとったら69%が今の状況では行事を中止してほしいと考えている。例年やっている夏祭りなどの行事は中止が決定した。ただ29%は何かをしてほしいと考えている。コミュニティを生かすためにも何かしら行事を行うことは大事であると考えており、検討中である。</p> <p>③人材不足が課題である。重責の役が回るからという理由で区から出る人もいる。班編成の際に区を出る場合が多かった。若い団地なので、区の活動に時間を割いてもらえない方が多い。</p> <p>④どう区をまとめていくかというのを課題に思っている。住民をどういうふうにもっていくか、悩ましい。</p> <p>⑤防犯カメラは自前の区費で、すでに設置してしまったが、あとからでも補助が出るのであれば教えてほしい。</p>	<p>①区・自治会への加入率が低迷する中、市として即効性のある対策もないのが現状である。そのため、市としては、集合住宅を建築される場合や住宅団地を開発される場合などには、事業者に対し、集合住宅入居者や住宅団地購入者へ区や自治会への加入を促していただけるようお願いしている。また、市としては、現在区や自治会未加入者世帯の方が、自治振興会の枠組みの中で地域コミュニティのための事業参加や役員としての参画を図ることで、区・自治会の加入に繋がるような仕組みになることを期待しており、地域説明の中で提案してまいりたい。外国人の方に対しては、希望者に多言語版のごみカレンダーの配布を行うことで、ごみ捨てのルール等をお知らせしている。</p> <p>②（意見交換会終了後）6月3日に区長さまに電話連絡し、既設の防犯カメラについては補助対象外であることを説明して了解いただいた。</p>
56	<p>①高齢化がどんどん進んでいる。新興住宅なので空き家が増える。アンケートをとったら新興住宅なので将来的にはずっとは住めないという回答が7割であった。空き家が増えると外国人が増えてくる。</p> <p>②30年以上特別会計（500円/月）を払った人には免除という自治会費の改正をした。</p>	
57	<p>①団地内での高齢化、子供の転出、一人暮らしの増加や家屋の老朽化等が進んでいる。</p> <p>②外国人が自治会に入らない。言葉の違いにより、意思疎通ができない。自治会だけでは対応しきれない部分があるので、行政の支援を求める。</p> <p>③団地が湖南市へ抜ける位置にあるので、車の往来が心配である。通学路でもあるため、危ない。行政の対応をお願いしたい。</p>	<p>②外国人との共生については、国際交流協会との連携や、第三水口台・第四水口台での小学生を対象にした学習支援を行っている。言葉の問題があるとは思いますが、集会所などをお借りして地域の中で互いに分かり合える機会を作りたい。国際交流協会も地域といかに連携できるかを事業の大きな焦点にしている。市役所としてもしっかりと連携をとっていきたい。通訳に関しても国際交流協会を考えていただいているし、ゴミの出し方などある程度決まったフォーマットのものに関してはこれからホームページなどに載せる。</p> <p>③通学路の安全対策については、甲賀市子どもの移動経路安全プログラムにおいて点検を行い、対策を検討している。対象地域の学校と協議いただき、当プログラムの点検箇所へ報告いただきますようお願い申し上げます。</p>

58	<p>①70数世帯しかないので、区役員をする人が限られてくる。また、欠員が発生しかねない状況にある。定年後に区長が当たるようにしている。区内での年齢構成を変えるようにして、維持できている。</p> <p>②一人、二人暮らしの世帯が10軒ほどに増えてきている。5年後これらの世帯はどうなるのか不安である。</p> <p>③大学を出ている人が甲賀市で自分の経歴を生かす仕事を見つけるのは難しい。若い人は出て行っている。工場だけでなく、別の職業で働けるような働き口がある市になったらいい。</p> <p>④除草作業の予算増だが、内訳等を知りたい。知ることで区での動き方もわかる。見えるようにしてほしい。</p>	<p>④市道の除草作業については、全ての路線を市で実施することが困難なため、区・自治会など地域の方々のご協力が不可欠な状況である。一方で少子高齢化や生活形態の変化等により作業の担い手が減少し除草作業が実施困難となる集落が増加しているのも実情である。このことから、除草の要望や苦情が年々増加しており、今後継続して維持管理を行うためには、地域の負担を減らしながら持続可能となるような仕組みづくりが必要な状況である。</p> <p>現時点においては、交通量が多い幹線道路や集落間を結ぶ道路を中心に市の方で除草作業を実施し、集落内の道路については、負担軽減を図りながら、これまで通り地域での除草作業をお願いしたいと考えている。</p> <p>今年度については、下山区内では「市道泉・下山幹線」「下山・さつきが丘1号線」の除草作業を市の方で委託実施しており、ご要望により委託実施路線を増やすなど対応を検討していく。</p>
59	<p>企業の誘致については、固定資産税や水道料金を減免するなどの措置を市が取り組むべきである。</p> <p>都市計画道路が水口町内に何本か計画されている。甲賀市に合併してから全く進んでいない。検討を加えるべきである。</p>	
60	<p>コミュニティスクールは教職員の負担が過度にならないようにお願いしたい。</p>	
61	<p>空き地が駐車場になっているところが多く車が増えている。区、自治会からの周辺道路整備の要望を取り入れてほしい。</p>	

62	学校給食の食材が高騰して、給食費が上がる、量が少なくなるなどのようなことにならないようお願いしたい。	コロナ禍で守らなければならないことが明確になっていて、子どもたちの育ちとか、命に係わる部分というのは市が最後の砦として守らなければならないと思っている。 6月議会でも、給食費が高くなったり、量が減ったり、クオリティーが落ちたりすることを阻止する予算を提案する予定である。
----	--	--

令和4年度 意見交換会で寄せられたご意見等と市の回答について(後日提出の質問シート)

① 移住・定住の取り組みについて

No	質問	回答
1	<p>やはり、田舎の良い所をPRしていくことが大切と思われる。山や農地の活用や地域とのふれあいがよいのではないかと。反面、区費、神社費、寺費を合わせると結構高い出費が必要となる。また、出合(出役)では、農業関係のものも多分にあり、出ないと出不足費が発生する等住みにくいところでもある。空き家の活用、移住者へのPRはもっとしてすべきであると思う。</p>	<p>【回答不要】</p>
2	<p>移住と農地について発言した事について追加質問である。隣接する農地なら1㎡からとの回答があったと思う。</p> <p>①隣接とはどの範囲をいうのか。</p> <p>②条件に合う畑はあっても水田はほぼ無理と思うが、どう考えているのか。</p> <p>③移住・定住の取り組みは住宅地には有効かもしれないが、住宅地以外でも農地法、農業委員会の許可等可能と考えているのか。</p>	<p>①隣接する農地とは、空き家バンクに登録された物件と地続きで、当該空き家バンク物件所有者が所有する農地のことを指している。道や他者所有地で分断されている農地は対象外となる。</p> <p>②1㎡から空き家付随農地を対象としたこの緩和制度は、空き家と一体となった屋敷畑を前提として考えられたものであり、水田は想定されていない。ただし、来年度には農地の取得や借りる際の下限面積の撤廃が見込まれていることから、屋敷畑だけでなく、もう少し農業をしてみたいという人でも水田を取得しやすくなると考えている。</p> <p>③農地取得等の許可を得るためには、申請者が営農することが基本となっている。新規就農される場合の農地取得等の申請書には営農計画を添付いただき、その内容も審査したうえで、許可の判断がされる。集落内農地、空き家付随農地、集団的な農地など、いずれの農地であっても、許可基準を満たせば、許可申請は可能と考えている。</p>
3	<p>デマンドバスやコミタクをもうひと段階ステップアップして、定額で乗れるタクシーとかバス停まで行くのが困難な人も使いやすい手段はないか。</p>	<p>【回答不要】</p>
4	<p>研修生などの外国人の受入を積極的に進めてはどうか。(企業からの相談窓口の開設など)</p>	<p>【回答不要】</p>

5	<p>小学生を増やす手段として特化した（校内での公用語を英語にするなど）特色のある小学校を目指してはどうか。</p>	【回答不要】
6	<p>朝宮茶は日本五大銘茶のひとつであり、1,200年前伝教大師（僧、最澄）が中国から茶の実を持ち帰り、朝宮の地に植えたのが起源とされ、日本最古の産地である。しかし近年高齢化が進み日本農業の65才以上が約65%という状況となっている。昔は家族経営で作業していたが、現在では朝宮の地に毎年若い季節労働の方（10名）全国各地から集まって来てくれている。名前は「茶助」（サスケ）というグループで各農家に元気をもらい手助けをいただいている。</p>	【回答不要】
7	<p>信楽町での定住及び移住のための取り組みとして、信楽の魅力のアピール度が薄れている。5町が合併後、甲賀市一体の行政取り組みとなっている為、20年近くアピール度が上がっていない。陶器や茶業だけでなく、独自の信楽町の方針を打ち出し、県内の他市へ発進、他府県への発進を今まで以上にお願いしたい。具体的な取り組みを2～3点聞かせてほしい。</p>	<p>信楽地域には信楽焼、お茶という全国的に発信力のあるツールがあり、過去から多くの移住者を迎えてきた歴史があることから、他地域とは異なる魅力があると考えている。このことから、窯元散策路など信楽ならではのまちの雰囲気や前面に押し出した移住情報の発信や、多くの先輩移住者との交流の場があることなどを、東京、大阪等の都市部で開催される移住相談会などで発信していく。</p>
8	<p>移住・定住促進のため色々取り組まれており、良い施策が出来てくると思うが、移住・定住をしてもらいたい世代がどの世代なのかははっきりしていない。先の事を考えるのなら、子育て世代に特化した施策を増やすのが良いと思う。広く浅くでは他の自治体と比較して魅力を感じないのではないか。コロナ禍で仕事も変化してきており、テレワークも増えて来ているので、そこもターゲットとしてテレワークをしやすい環境作りを検討してほしい。</p>	<p>本市から市外への転出者は、若者、女性が多く、就学、就業を契機としたものである。このことから最優先事項は、市内の高校生や大学生などが「甲賀市に住み続けたい」「将来Uターンしたい」と思っただけのよう、「定住」意欲を高めるための取り組みが必要と考えている。</p> <p>また、「移住」については、ご提案のとおり、子育て世代（働き世代）をターゲットにしており、医療費の無償化（中3まで）やおむつ等の支給など「子育て教育NO.1」の取り組みに集中的に取り組むとともに、コロナ禍を経て、日常の暮らしや仕事に対する考え方が大きく変わったこのタイミングをチャンスとして、テレワーク環境の充実等のための支援制度等も検討していく。</p>
9	<p>長野区においては、趣味の焼き物やアーティストが借家を探しているなどの情報が入る。外国人には水口の不動産業の斡旋がある。長野区は中山間地域でもなく、自然の中の生活には不向きで陶芸を目指している人にはいいかもしれないが少人数である。</p> <p>移住・定住のプロセス（子供資金・老後対策・教育、交通、その他）は行政が発信し、地元は受入れ態勢をどうするか地区別に考えるのがよい。</p>	【回答不要】

10	<p>大原上田区に於ける移住・定住について、現在移住者は3軒あり、3軒は区費や草刈りなど協力的である。空き家は7軒存在するが所有者は区外、県外であることから地元協力金として協議費を3,000円程度納めて頂いているが、今後、区として空き家周辺地域の樹木の繁茂や除草など地主に代わり施工することになるのか心配である。何か範例があれば教えてほしい。</p>	<p>草木の繁茂は不衛生であるとともに、通行の妨げにもなる。地域からご相談をいただいた際は、空き家所有者へ通知させていただいているので、ご相談をいただきたい。</p>
11	<p>私は兵庫県出身で、大学を卒業後仕事の関係で滋賀県に住むようになった。現在感じていることを列記する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 甲賀市になって、組織がスリムになるか感じていたが、大原・佐山・油日地区に分けられている。 2. 自治区で山や土地をもち、それを管理して、欠席すると出不足料としてお金をとられる。 3. 寺や神社が多く、奉仕や行事及び費用の負担がある。伝統行事等の維持に市より補助金を出すべきではないか。 4. いろいろな補助金があるが、補助金目当てにやられていると感じる。 5. 区長になると用事が多すぎて仕事をしてられないというような話が若い人にまで知れ渡っている。結論として、公的時間・負担金の少ない地域にすることで移住・定住が進むと思う。 	【回答不要】
12	<p>近くに就職する会社がない。</p>	【回答不要】
13	<p>当区でも空き家が数件あるが家の持ち主が遠方の人が多く、空き家バンクなどの情報が入らない。</p>	【回答不要】
14	<p>協議費や入会金の有無、また未加入者への平時の対応等、各区の状況を比較できる資料等があればいいと考える。</p>	<p>区費等については、地域自らが地域事情を踏まえ、ご決定いただいております。公開を前提とした情報公開について、承諾いただくのは難しいのが現状である。そのため、市として資料を提供させていただくことができないので、貴区が周辺の区・自治会にお問い合わせをお願いしたいと考える。</p>

15	規則緩和とその周知が必要。	【回答不要】
16	近年、区長や各委員の皆様が高齢者になり、また、障害を持っておられる方もおいでになるので、行政からの用務等について、その点の配慮をお願いしたい。	【回答不要】
17	移住・定住の取り組みをあき家問題に結び付けて効果を出すというのはむずかしいと思う。甲賀市の人口流出減をいかに減らし、市に定住してもらう人をいかに増やしていくかという課題はもっと幅広い角度で考える必要がある。私は以前に会議でも発言したが、草津線の複線化こそが大きな柱になると思う。	【回答不要】
18	定住・移住を促進するには、現状の生活環境を改善する必要がある。道路及び歩道には雑草が繁殖し、更に、下水道管理後に道路の陥没凹部ができ、様々な弊害が近隣家屋、住民に及んでいる。東京都心や埼玉浦和など都会では、道路に雑草など生えていない。工法が違うのか。また、道路の不具合箇所などほとんど見たことが無い。事業を推進するには予算が必要となる。企業誘致の推進をはかれば、自ずと従業員の市内移住者も増加が見込まれ、企業（工場）が増えれば、税金も見込まれる。更には、草津線の複線化をはじめ、京都、大阪への通勤時間の短縮と利便性を向上させる必要がある。	【回答不要】
19	当自治会はご承知の通り12年程前に建設された住宅地である。移住した私を含め、一定数他の地域から来られていると思う。理由も様々だと思う。また定住については、家庭の事情が様々で、どうなるのか予想できないだろうが、移住も定住も、取り組みは多数あると思うので、できる事から一つずつコツコツとやっていくしかないと思う。 また、コロナが良かったのか悪かったのか、リモートでできる仕事が増えているので、今後違った変化があるのではないかと。	【回答不要】

20	<p>曳山を保有する旧水口町の者にとって、それを町内会レベルで保存維持していく苦勞は人的・金銭的な面で大変なものがある。合併を考えるにしろ曳山がネックとなり、中にはそれを「負の遺産」と切り捨てる方もあると聞く。しかし、曳山、祭り、囃子があることで町内会として集まり、語る場があり、それがご近所との友好関係の安定化につながってきっていた歴史を知る者にとっては、それは決して切り捨てることのできない、いや、切り捨ててはいけないものであることも強く意識しており、困難な状況であることは認識しつつ、何とかしていけないものかと日々考えている。</p> <p>そのような中、今年は3年ぶりに水口曳山祭りが開催され、隣の巡行の手伝いに行ったところ、近年造成された住宅地の若い方々がものすごく積極的に、楽しそうに関わっておられる姿を目にし、このような曳山、祭り、囃子といった「伝統文化を売りとしたまちづくり」ができないものかと思った。</p> <p>思えばこの水口曳山祭りは、全国のいわゆるお祭り好きには広く知られた祭りであると聞いている。また旧水口を中心として市内で生まれ育った方の中には、子どもの頃から何らかの形で祭りに接してきたという方も多いことであろう。そういった方々の中には、このような伝統文化に接したい、子どもにも接してほしいと考えられる方もおられるのではないか。</p> <p>そのような思いに応えるように市や町内会も「ここに移住すれば・・・」と誘致していくような形が出来上がっていけば、新たに移住される方も元から定住する方も、互いに喜び合えるまちとなっていくように思う。</p>	【回答不要】
2 1	<p>空き家を企業の社宅として活用するのは難しいか。</p> <p>現在単身赴任されている方が家族で移住すると、子ども世代は甲賀市が地元となり、定住に結び付くかもしれない。</p> <p>維持管理の問題等あるかもしれないが、公的活用として、空き家を被災者の受け入れ住宅としてはどうか。</p>	【回答不要】
2 2	<p>移住について、下記の推進をしてほしい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 空き家バンクの推進 2. 空き家購入補助や低価格の賃貸 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度より空き家バンク物件の登録に向けて、所有者へのアンケート調査等を実施し、利活用の案内を行っている。家財処分等の各種補助金や制度の整備も進めているが、今後も所有者、利用希望者へ周知を図り空き家バンクの充実を図っていく。 2. 今年の7月より、空き家バンクに登録された、移住・定住モデル地域での空き家購入補助制度を創設した。現在、空き家の家財処分や成約にかかる補助制度は全市的に行っているが、購入補助を全市的に行うのか空き家の活用状況を勘案しながら検討していく。

2 3	<p>定住（高齢者対策）について、下記の推進をしてほしい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近い距離に医療・診療機関の充実 2. 移動販売車の充実 3. 自家用車での移動が出来ない方への公共交通機関の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広野台地先から概ね半径2kmの距離に、甲賀市内3か所、湖南市内6か所の診療所が立地している。コミュニティバス広野台線をご利用いただくことで、公立甲賀病院を含む多くの医療機関へのアクセスも確保されている。 2. 昨年6月より、地域に小売店がない箇所をモデル地域として選定し、移動販売モデル事業を実施している。現在、市内約90か所において、月曜日～土曜日に週1回、20分程度の移動販売を行っており、買い物が困難な高齢者が、今後も住み慣れた地域で暮らし続けることができ、在宅での日常生活を安心して送れるよう支援している。なお、移動販売の場所に関する相談など、区長様よりご意見ご要望等があれば検討していく。 3. 現在、75歳以上の高齢者がコミュニティバスを無料で利用できる制度や、地域の移動支援にかかる自主的な取り組みを行う団体に対して支援を行う制度を設けている。今後もこのような制度を継続しながら、さらなる課題の解決に向け、福祉部局と一体となった取り組みを進めていく。
2 4	<p>高齢者が現地域に定住し続けられる為には、買物・通院の利便性が何より求められる。また、ゴミ出しの排出がゴミステーション迄、困難とされる方も増加の傾向にあることから、ハートバスの運行地域でも予約制のタクシーが利用できるようにならないか。また、希望者の高齢者には自宅前でのゴミ出し戸別収集を考慮して欲しい。</p>	<p>現在、バス路線が設定されている地域については、特に通勤・通学の時間帯に多くの利用があり、一度に大量の人数を運ぶことのできないタクシー車両を活用した予約制の交通機関を導入することは困難な状況である。その中でバスのダイヤ改正による利便性向上や、他の交通手段の導入可能性について検討していく。</p> <p>ごみを集積所などに運ぶことが困難な高齢者や障がい者世帯を対象にごみの戸別回収を開始する。</p>
2 5	<p>若者の人口流出で高齢化が進む。対策として企業誘致を進めて欲しい。（大学卒業者の就職就労場所が少ない）</p>	<p>新たな企業立地のニーズに対応するため、新たな工業団地やそれに伴うインフラ整備、規制緩和等により工業用地を創出するとともに、本社機能や研究開発機能等を有する企業等の誘致・設備投資の促進を図っていく。</p> <p>併せて、中小企業が優秀な従業員を確保できるよう、大学や高校等との連携やマッチングの推進等により、雇用面での支援を行う。</p>
2 6	<p>若い人が出ていくため、農業後継者がいなくなり、先が見えなくて困っている。（水利費の支払いが負担になる。）</p>	<p>【回答不要】</p>

27	<p>人口を増加させるための施策を考える際、市外勤務者と市内勤務者に分けて考えることが必要。市外勤務者へは子育て施策の充実に加え、勤務先確保、通勤の利便性を図る施策の充実が重要である。</p>	【回答不要】
28	<p>「空き家があれば購入したい」「貸してもらえないか」といった情報が市があれば、区に相談してもらえれば地域として取り組みを検討したい。</p>	<p>空き家バンクに物件を登録いただくと、制度を活用いただいた上で物件購入を希望されている方にご紹介させていただいている。地域としての取り組みは是非お願いしたいことであり、改めて自治振興会へご連絡いたしますのでよろしくお願い申し上げます。</p>
29	<p>新規の住宅開発地並びに集合住宅に住まれている方々に対して、ほとんどの区・自治会では閉鎖的な考えであり、どのタイミングで事業者や住民に加入を打診したらよいか分からないと思う。市から加入への方向性や加入に向けての指針や進め方などのガイドラインは作成できないか。</p>	<p>市では現在、集合住宅を建築される場合や住宅団地を開発される場合などには、開発事業の事前協議の段階で、事業者に対し、該当する区・自治会への説明を指示しているほか、個人住宅入居者や住宅団地購入者へ区や自治会への加入を促していただけるようお願いしているところである。</p>

②地域の困りごとについて

No.	質問	回答
1	<p>矢川橋より甲南大橋間の杣川堤防及び河川敷の竹、木、草の除去について、現在水口方面より順次河川敷、堤防の整備が行われているが、森尻地先はいつ頃整備されるのか。</p>	<p>所管である滋賀県甲賀土木事務所に確認したところ、今年度、整備を実施する予定であると伺っている。</p>
2	<p>市の職員の区自治会活動への参加について（詳細は別紙）</p>	<p>市民ニーズが多様化、複雑化する中で、課題に対応していくためには、市民と行政が協働して課題を解決していくことが必要であると認識しており、市職員が地域活動に積極的に参加することを勧めている。地域活動へ参加することは、職員の能力向上のためにも有意義であり、研修等の取り組みも実施している。しかしながら、職員一人ひとりに対して、地域活動の実施を命令することはできず、職員の自主性に任せているところであることは、ご理解をお願いしたい。地域活動に積極的に参加する職員の育成のため、今後も様々な取り組みを進めていきたいと考えている。</p>
3	<p>河床の土砂撤去については行わないと回答しているが、安心、安全なまちづくりの観点からも同じ回答となるのか。 ①これからの大雨の時期、もし水害が発生した場合、市の責任でよいということか。 ②河川内の草刈りについて、県は危険なのでなくてよいとのことだが、補助等はカットするということは、暗に草刈りを「しろ」と言っているのと同じでないか。</p>	<p>樹木伐採・堆積土砂撤去について、所管である滋賀県甲賀土木事務所に確認したところ、「浚渫については他の河川においても非常に多くの要望がある中で、残土処分地の確保については苦慮しているところであり、下馬杉区近傍で確保していただければ、実施出来るよう検討させていただく。」との回答であった。</p>
4	<p>夏の河川清掃が数年前から作業の限界を超えている。現在の住民の人数や年齢ではとても10年前と同じ作業は出来ないのが現実なので、一度担当部署との話し合いの機会を持っていただけないか。</p>	<p>人口減少、高齢化等により清掃活動が困難になっているというご意見は多数寄せられており、市として一級河川の管理者である滋賀県に河川愛護活動事業の制度見直しを強く要望しているが、根本的な改善には至っていないのが現状である。ご要望事項である、県と市の担当者との協議について、調整をさせていただく。</p>

5	<p>旧信楽町の時代のまちづくりアンケートにおいて、お店（コンビニ）が地域にほしいとの意見がかなりあり、それについての誘致を当時進めた。場所もほぼ決定しコンビニの本社も話ののって、経営者の募集までこぎつけたが、経営者が見つからず、話が流れてしまった。地域の利便性と活性のためにも、お年寄りの集う場所を兼ねたお店ができることを願っている。それらを支援いただく政策がないか。また、一緒に検討していただけないか。</p>	<p>地域における商工業振興に向けても検討が必要な内容であるので、是非、お話を伺いたい。 甲賀市商工会が設置している甲賀ビジネスサポートセンターと連携した、店舗と経営者のマッチングも考えられる。</p>
6	<p>砂防ダムの用水路の取水口が土砂や流木などで詰まっている。ダム内のある程度の土砂を浚渫すると解決すると思う。昨年度、県に現状を確認していただいたのだが、砂防ダムですのうでダムとしてはこれで機能を果たしているのうで、県としては対処できないとの事だった。担当部署に一度現地確認をお願いしたい。 取水口が詰まると用水路の水がなくなり農業用水が確保出来ないのうで、消防用水の確保ができない。5月は農繁期で多くの農業用水の確保が必要なため、取水口の掃除を農家さんに3回していただいたが、清掃作業は足場も悪く非常に危険をとまなう。</p>	<p>砂防ダムの堆砂状況確認については、県と市の担当者と現地立会の日程調整をさせていただく。 農業用水の取水口について、関係者（農業用水施設管理者等）の皆様と現地で状況確認を行ったうで、今後の対応方法についてご協議させていただきたい。</p>
7	<p>今では「茶助」の2名が定住し茶業の新規就農をしている。朝宮茶の将来もこの人達にかかっていると言っても過言ではないと思う。数少ない空き家をお借りして5月から7月の茶期の間、住んでもらっているのが現状である。 要望だが、プレハブ（簡易トイレ、バス付き）で良いのうで、助けてもらっているアルバイトの住める建物を考えてもらいたい。又、この人たちの助成も考慮してもらいたい。</p>	<p>地域の課題である空き家の解消と、地域産業を守るための人材確保については、「空き家」と「仕事」を組み合わせた先進的な取り組みであるとする。ご提案の行政自らがプレハブ等を建設することは難しいところがあるが、市内経済を支えていただいている企業、産業における人手不足は顕著であり、それらを解消する手段として「空き家」の活用を支援することはぜひとも進めていければと考えている。今年度より開始する移住定住モデル地域支援制度等において、支援の方法を一緒に考えさせていただきたいと考えている。制度の活用をご検討願いたい。</p>
8	<p>国道307号杉山入口信号交差点の住人が住んでいない道沿いのゴミ屋敷は、子ども達の通学路でもあり風の強い日や台風時ブルーシートが通学路に落ちていたり木や扉が倒れそうであると自治振興会の地域づくり計画のアンケートでも意見が出ている。市の方で対策をお願いしたい。</p>	<p>空き家所有者の調査に努めるとともに、文書等による指導・助言を行っていく。</p>
9	<p>数年前以上に売却された空き家が住まらずにそのままになっており、敷地内の管理が全くされていない状態である。 隣接の道路にも敷地内の木の枝が出ている。又、深夜には鹿の集まり場所にもなっている。 持ち主は町内の方とお聞きしているが、どのように区として行動すれば良いか対処方法を教えてほしい。</p>	<p>該当の空き家調査を行い、草木等の管理について所有者様へ通知をさせていただくので、住宅建築課までご連絡をお願いしたい。 空き家周辺に出没しているシカの捕獲については地域狩猟者団体へ依頼したので、出没場所の周辺で捕獲予定である。</p>

1 0	<p>移住・定住の取り組みについて質問させていただいた中でテレワークと書かせてもらったが、勅旨区では（他の地区も）携帯電話（特にau）の電波が悪い。移住してもらうにも、電波の悪いような所は敬遠される可能性が高いので市からお願いしてもらえないか。勅旨区西側で避難場所をお願いしている家も電波が悪くほとんど携帯電話が繋がらない為、緊急時、非常時に固定電話が役立たない時に連絡手段がなくなってしまうので、対応をお願いしたい。市と県との連携をもっと強化していただきたい。</p>	<p>勅旨区の電波状況について、聞き取り等により確認させていただき、携帯電話事業者各社へ改善の要望を行う。</p>
1 1	<p>外国人だと両隣りの付き合いが難しそうだ。ゴミ当番、分別、ゴミ出し日に移転時に市民センターより言葉をもって告知すべきである。（家主にも徹底するべき） ゴミステーションの管理者及び掃除当番より家主等へのトラブルになる区長職においては短期の為、問題の発起、解決までに行きつかないのではないかと思われる。</p>	<p>【回答不要】</p>
1 2	<p>住み続けるために必要なことは長期、中期、短期に分けて、長期的には就職地（草津、大津、京都）までの交通（電車を複線化）を整備し、実家から通勤できるようにする。名阪、新名神、名神インター周辺整備。中期的には大規模販売店（道の駅、コストコ、イケアなど）県内各地から甲賀市に買い物などに来れる店舗等の誘致など、今、小学生の子供達が甲賀市に定住するための対策。短期的には運転免許返納後の生活支援で空き家を利用して生活物資など市営（主体）の店舗やコミュニケーション場を数多く設置してはどうか。</p>	<p>ご提案のとおり、移住定住施策は一朝一夕で成果ができるものではないため、中長期的な取り組みが重要であり、特に「公共交通（鉄道、バス）」と「多様な仕事づくり」が大切であると考えている。また、短期的な取り組みとしては、コミュニティバス無料乗車券の配布や買い物支援（移動販売）など、日常の暮らしの支援に取り組んでいるところである。 今後は、今いる若者、子どもたちが地域に住み続けたいと思う「定住」の取り組みをさらに強化すべきであり、地域への愛着や様々な年代とのコミュニケーションの場づくりなどをコーディネートしていきたいと考えている。</p>
1 3	<p>今年、区長になり一番困ったこと・困っていることは役員を決めることである。現在、働き方が変化して70歳まで働く人が多くなり、また夜勤等で働いている人も増えている。よって以前のように自由の利く人がいなく、引き受けてもらうのに苦労している。特に民生委員の成り手がない。 60代は仕事を理由に引き受けてもらえず、仕方なく70代の人にがんばってもらうしかない現状である。民生委員の依頼をしていて感じたことだが、他の役に比べて拒否反応が強く感じられる。私の父も長年民生委員をしていたが、そんなに大変そうには見えなかったの、なぜと驚いている。今後も次の民生委員を決めるのに苦労し、結局長くやるという状況になっていくと思う。 民生委員という役が負担に感じるような認識になっているので、単なるボランティア活動で他と変わらないという意識改革をお願いする。</p>	<p>【回答不要】</p>

14	<p>上野区は200軒ぐらいあるが、役職を頼みにいっても断られることが多い。同じ人が何年もしている。</p>	【回答不要】
15	<p>他の区同様に役員の人選にはかなり困る。当区役職の仕事も多く敬遠される。</p>	【回答不要】
16	<p>草刈り作業で刈り取った草の処分に困っている。 もちろん野焼きは原則禁止であり、多くの方は燃えるゴミで搬出しているが、不燃ゴミ処理場への搬入はできない。搬入できるようにしてほしい。</p>	<p>各不燃物処理場の開場日は、軽トラック1台分程度の草の搬入をしていただくことができる。搬入可能な大きさなどについてはごみ事典やごみカレンダーをご確認いただくか、生活環境課までお問い合わせいただきたい。</p>
17	<p>県道4号線の大型車の通行量の多さについては、当日も意見交換をしたが、歩道等の対策は継続的に実施していただいているが、やはりゴミ集積場がカーブの途中に位置しており、また県道より南側の住民の自動車の流入等で非常に危険な状況にある。スピード制限、標識、看板等の対応を講じたいと考えるので、公安委員会・県土木・甲賀市・警察署等を包括した市の窓口での対応を希望する。</p>	<p>速度規制を甲賀警察署に申し入れたところ、道路幅員等から判断して規制は難しいとのことであった。 五反田の道路標識の設置要望について、所管である甲賀土木事務所に申し入れたところ、「現地には道路標示が設置されていることから、現在のところ、新規設置の予定はない。」との回答であった。</p>
18	<p>鳥獣害対策強化をしてほしい。 打越交差点の改善をしてほしい（カーブミラー移設、停止線補修、注意喚起表示等） ※毎年要望書を提出している</p>	【回答不要】
19	<p>環境美化運動清掃の件だが、私の地区は限界集落で作業が困難になり、近い将来外部委託になると思う。その場合の助成金及び業者の紹介等は有るのか。この活動は県の行政と聞いているが、市との関連はどうなっているのか。</p>	<p>現段階では助成金及び業者の紹介等はない。ご意見いただいた件については課題であると認識しており、解決に向け検討していく。清掃活動については、可能な範囲でのご協力をお願いしたい。 活動については県の条例に定められた日に合わせて、市から各地域に協力の依頼をさせていただいている。</p>

20	<p>【地域窓口の一本化と地域ランドデザインの関係について】</p> <p>令和3年度の甲賀市区長連合会の要望を受けて、甲賀市の回答（令和3年11月15日）があり、行政と地域の窓口を自治振興会に一本化すると云うことが土山地域区長会長会（令和3年11月24日）、山内区長会（令和3年12月22日）に報告された。その内容について区民に周知した。</p> <p>上の平区では今後の検討課題として、問題点はあるが方向性について異論はなかった所が令和4年3月22日の山内区長会において、市より山内学区将来展望計画（ランドデザイン）の策定について説明がなされた。</p> <p>地域窓口一本化について、行政から住民に何の説明もなく新しい制度を開始する予定（令和5年4月）もいつの間にか変更されている状況のなかで、ランドデザインの策定を進めていくことについて理解（納得）できていない（区民も理解できないのではないか）。行政として何をしたいのか、それが住民サービスにどう繋がっていくのか。</p> <p>また、窓口を一本化することによる地域と行政の個々の問題点・疑問点解決にむけてどのように進めていくのかも含め説明をいただきたい。</p>	<p>本市がお示しをした行政窓口の一本化については、行政窓口の一本化を単に自治振興会に委ねるものではないが、地域説明が十分ではなかったことから、多方面から、ご意見を頂いている。現時点では、当初目標としていた期限（令和5年4月）も含め、改めて検討を進めているところである。</p> <p>一方、ランドデザインについては、市の職員が推進チームとして参画させていただくこととしており、今後、推進チームの職員とも、今回のご意見について情報を共有し、その上で地域の皆様には、「行政窓口の一本化の目的」や「自治振興会と区・自治会の整理の方向性」についても丁寧な説明に努めていくので、ご協力をお願いしたい。</p>
21	<p>現在、綾野学区の各地で地域住民の交流の場として集会場等を維持管理しているが、費用負担（修繕・建替え等）の件で、今後、単独の施設維持が厳しいとの思いをしている。</p> <p>このような状況の中、今日、市長の挨拶で今年、水口中央公民館を複合施設として再整備する旨の話があった。そこで新しい中央公民館を近隣の区が集会場として利活用することが可能か。</p>	<p>現在、水口中央公民館周辺整備について、順次事業を進めているところであるが、改築される施設の運用方法等については、今後、検討していきたいと考えている。</p>
22	<p>信楽高原鉄道の土手(側面)の草刈り作業について、牛飼の45戸が、田・畑・家の所有地のそば地として何十年も前から各々が土手の草刈りを行っている。しかし最近の高齢化により、60才以上が8割を占めている。中には80前後の方はもう年で側面の草刈りは危険で何とかならないかという要望も区に出てきている。上下分離で側面の管理が市になった今、業者に委託するなど取り組んでいただきたい。</p>	<p>次年度以降、業務委託等による対応を検討する。（区長様へ別途ご説明をさせていただいた。）</p>

23	<p>①名坂的場線の下水道工事後の道路陥没箇所が、約400mに渡りあり、降雨時は水が大量に溜り、通行車両が水を跳ね上げ通学児童、生徒及び通行人へ被害が発生している。また、車両が、それらを回避するためセンターラインを大きくはみ出すことによる事故にもなりかねない。異常振動が近隣家屋に及んでおり、早急な改修を願いたい。</p> <p>②定期的な清掃活動を実施する中で、側溝清掃をしたくても蓋が重く人力では上げられないため、堆積物の除去ができない。チェッカー等に変更はできないか。不可能な場合は、定期的な清掃（堆積物除去）をどうされるのか。</p> <p>③区の運営に際し、区長、民生委員選出に苦慮しているのが現状であり、他の区が実践している情報や意見交換の場を設定して頂きたい。良いことは、真似をして区活動の円滑化をはかりたい。</p> <p>④高齢化が進む中、今まで出来ていた清掃活動などが出来る人員の不足が懸念される。業者委託をすれば、それなりの費用負担増となるが、当然区として計上する中で、市の費用補助の検討はできないか。</p>	<p>①舗装修繕については、数多くのご要望をいただいております。通行に際して危険が及ぶ箇所から対応している中で、現在のところ当該道路の修繕計画はない。今後も道路パトロールにおいて状況を注視し、必要に応じて補修を行っていく。</p> <p>②日頃から周辺道路の環境維持にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。側溝蓋を交換することは困難であるが、地域の清掃活動で側溝清掃のご協力をいただく際には、蓋をあげる機材をお貸しすることも可能である。また、水流れに支障をきたす程、土砂等が堆積している箇所については、市の方で側溝清掃を実施するので、建設管理課までご連絡をお願いしたい。</p> <p>③人口減少や少子高齢化が進む中、区役員の選出や市からお願いしている民生委員の提出などに苦慮いただいていることは認識している。そのため、市としても、市から地域にお願いをさせていただいている充て職の見直しができないかや、民生委員の選出範囲などについてなどの庁内協議を進めることとしているが、ご意見をいただいた情報交換や意見交換の場などの設定については、前向きに検討していきたい。</p> <p>④ご意見いただいた件については課題であると認識しており、解決に向け検討していく。清掃活動については、可能な範囲でのご協力をお願いしたい。</p>
24	<p>意見交換会で多く出ていた草刈りの問題は、そういう場所がなく、当自治会は当てはまらなく、逆に子供が多いので、遊ぶ場所がなくて困っている。</p> <p>道路で遊ぶことがないよう、呼びかけているが、なかなかおさまらないのが現状である。</p>	【回答不要】
25	<p>集会所の老朽化、新築、耐震化、取り壊しと意見が割れている。相談窓口はどこか。</p>	<p>集会所の新築・耐震補強改造・バリアフリー化改造については、自治ハウス等整備事業が該当し、新築については、コミュニティセンター助成事業も対象となる。担当課は市民活動推進課になるので、お気軽にご相談をいただきたい。</p>
26	<p>先の意見交換会でも述べさせていただいたが、新たな施設ができ、その機能をそちらに移転されることは十分に検討された結果と受け止め、前向きに捉えている。しかしながら、その跡地・施設が長期間放置されることはやはり問題であると考えます。</p> <p>移転されるならされるで、その時点で次はどのような（跡地・施設）利用がなされるのかといった方向性が示されていて、そこに向けての速やかな移行が図られるならば、定期的な清掃や跡地・施設の再整備といったいわば無駄な経費も抑制されるのではないかと。</p> <p>現在は市内で多くの「空き家」に対する問題があると伺ったが、これもひとつの「空き家」問題とお受け取りいただき、今後はそういった跡地・施設がなくなるようお考えいただければと思う。</p>	【回答不要】

27	<p>自治会で高齢化が進み、役員選出や防災に関して課題が多いが、役員が時間を取り話し合う機会が取りづらい。(それぞれ生活スタイルが違い、時間が合わない、忙しい)</p> <p>他の地区のモデルケースなど、話を進める上での判断材料やアドバイスが受けられると有り難い。</p>	<p>ご意見にもあるが、生活様式の多様化により、市内の他の区・自治会でもご意見のようなケースで苦慮いただいている地域もあるのではないかと考えている。貴自治会の課題に即しているかどうかは難しいとは思いますが、事例の一つとしてオンライン会議（ZOOM）の活用が進んでいる地域もあり、他のモデル的な区・自治会の情報も含め、担当する綾野地域市民センターでご相談をお願いしたい。</p>
28	<p>以下の課題について市からも対策を願いたい。</p> <p>①外国人移住者（非自治会員）との文化の違いによるマナー違反・コミュニケーション不足</p> <p>②ペットマナー問題（犬の糞、野良猫等への餌やり）</p> <p>③自治会区長の役の成り手不足（役をやりたくないための脱会）</p> <p>④高齢者世帯の増加（緊急時における対応への不安）</p>	<p>①外国人が集住したことによる様々な生活トラブル等については、母国との生活習慣の違いや地域におけるマナーについて多言語等で周知し、理解していただくことが必要であると考え。周知文書の翻訳が必要な場合は、市役所担当課もしくは国際交流協会にご相談いただきたい。また、日本人市民と外国人市民とのコミュニケーション不足については、市や国際交流協会において交流機会の創出に努めるほか、区・自治会においても、外国人市民への地域事業への積極的な参加を促していただくことで、交流する機会を増やしていただきたい。</p> <p>②ペットの糞については、市で啓発看板を作成しており、申請のある区・自治会に年間度内3枚を上限として配付させていただける。また野良猫等への餌やりについては、滋賀県動物保護管理センターに情報提供し適切な飼育方法を案内していただいている。いずれも、広報や出前講座等で今後も啓発していく。</p> <p>③役員の成り手がいないことの原因の一つである負担感については、区・自治会と自治振興会の役割の整理等を通じて、区・自治会の役員の皆様の負担減少につながるよう検討している。また、貴自治会としても、住民の生活様式の多様化が進む中にあるにも関わらず、今の自治会運営が、旧態依然とした運営になってしまっていることで、役員の負担が進んでいるのではないかなど、皆様で話し合ってくださいことも大切ではないかと考える。</p> <p>④現在、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の方等を対象に、緊急通報のための装置を設置し、急病、災害、事故等の緊急時の救援体制の支援を行っている。また、認知症等により徘徊のおそれのある高齢者の早期発見および安全の確保を図るために、GPSの利用にかかる費用の一部助成や、また高齢者の情報を事前に登録していただき、行方不明時等にその情報を元に迅速な対応がとれるよう事前登録事業を実施している。今後も引き続き制度利用の啓発に努めていく。</p>

29	<p>ゴミ出しマナーや犬の飼い方のマナーの悪さから隣近所のコミュニケーションが悪くなり脱区するケースが見受けられるようになった。また外国籍の方も増加傾向にあることから、このような取り組みのマナールールを守るため、市でユーチューブでみられるようなものを作って一目で分かるように配信するよう要望したい。また、地域防犯カメラ設置補助の条件を教えてください。</p>	<p>映像による周知など、多様な媒体を使った啓発の検討を進めていく。(補助金交付要綱、ガイドラインを区長様宛に送付をさせていただいた。)</p>
30	<p>以下課題に対して対応をお願いしたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世帯数減少による耕作地の維持。 2. 土地所有者が相続により売買がし易くすることも必要であるが、農地が点在する環境にならないよう工夫が必要。 	<p>高齢化や担い手不足による農業者が減少しているため、地域内の農地をいかに維持、保全していくかが課題であると認識しているため、人・農地プラン策定により地域の農業の5年後、10年後の将来の方向性や今後の活用方法について集落内で検討していければと考えている。</p>
31	<p>第4区内(池田町、湯屋町、滝町)の空き家、空き地の今後の処理と現在の状況をお知らせいただきたい。</p>	<p>市内の空家等の軒数は約1,500軒あり、水口地域では約450軒と把握しておりますが、第4区内の数値は把握していない。</p> <p>第4区内を含む空き家対策については、空き家所有者への利用調査を実施し空き家バンクの登録を呼びかけるとともに、周辺に迷惑となる空き家については、現地パトロールや地域からの情報等を基に、管理いただくよう文書等による指導・助言を行っている。</p> <p>空き地については、本来は土地所有者が管理するものであり、市で個別把握はしていない。しかし、適正に管理されず雑草が生い茂り、害虫の発生やごみの不法投棄など周辺環境に影響を及ぼす場合があり、市には毎年200件以上の相談がある。そのため、市では状況確認のうえ所有者に対し適正に管理していただくよう連絡文書を送付している。</p>
32	<p>農業施策で転作田が2年に1度回ってくるが、地域内の田でも他所耕作者に転作面積を持っていかれるため、転作が増えてしまうことになり米の作付けができない。</p>	<p>米の需要は年々減少しており、米価も下落傾向であるため米の生産販売は農業者の皆さまの所得を維持する上で厳しい状況になっている。このことから市では、米以外の高収益作物への転換を図ることなどにより、農業所得の向上につなげていきたいと考えている。</p>

3 3	<p>①水口小学校の除草および隣家まで伸びている枝の伐採について、魚屋町の町代が申し出されたが対応されていない（別紙写真・位置図あり）</p> <p>②高齢により、自分の町内のごみ集積場に距離があるからと隣の集積所に出されている。町代さんが注意をされても聞かず困っておられる。</p>	<p>①ご要望いただいている支障枝の伐採は、8月24日に実施をさせていただきます。</p> <p>②ごみ集積所の管理については各地域、利用者をお願いしており、今回の件についても話し合いをしていただきますようお願いしたい。なお、高齢等により集積所までごみを運ぶことが困難な世帯については、戸別収集を行っておりますので、要件等確認いただくようお願いいただければ幸いです。</p>
3 4	<p>他地域からの移住者はあまりいないが、農村地域であることから、農地の維持・管理が一番の困りごとである。営農組合を立ち上げたが、役員以外に出役がなく困っている。参考になる地域があれば教えてほしい。</p>	<p>甲賀地域の集落営農法人連絡協議会で甲賀地域の取組事例を取りまとめていただいております。各営農組織へ配布しているので、参考にいただければと考えています。</p>
3 5	<p>ごみの減量化に向けて、甲賀・湖南市の各家庭、事業所への効果ある啓発活動と区・自治会でのごみ減量化に取り組める新たな補助金制度の検討はできないか。</p>	<p>ごみの減量化は課題であり、減量化に向けた効果的な啓発や施策展開など引き続き検討を進めるとともに、湖南市、衛生センターとも協議を行っていく。</p>
3 6	<p>転売された空き家の所有者管理者が不明となった場合の甲賀市の対応はどうか。区・自治会からの問い合わせに答えていただけるか。</p>	<p>空き家所有者や関係する相続人に対して、文書等による管理を依頼するので、住宅建築課空家対策室までお問合せをいただきたい。</p>

37	<p>水口祭曳山所有町内として</p> <p>①コロナ禍でお囃子の練習を中止せざるを得ない状況、このままだと近い将来お囃子の継承ができないと思われる。</p> <p>②若衆がいなくて活動できない状況である。</p> <p>③有形文化財である曳山の保存点検管理ならびに操作技術の伝承、ダシ作り、田楽製作の専門知識がないため、今後の運行・運営が心配。</p> <p>④山蔵および付属建物の老朽化につき、改修、改築が必要。</p> <p>⑤東町共有文書(歴史民俗資料館に寄託した古文書、扁額、近代の賞状類、写真等)を専門家に見てもらい、保存等を検討。</p> <p>以上の項目について、文化財保存・伝承の観点からソフト・ハード両面での行政の更なる支援をお願いしたい。</p>	<p>①～③ コロナ禍や少子化等による祭礼継承の困難は、全国的な課題となっている。抜本的な解決策を見出すことは難しいが、各地で様々な取組が行われており、参考になる事例もあるかと思う。市としては情報の収集と提供に努めるのでご相談いただきたい。</p> <p>④ 修理等のご要望については、水口曳山まつり保存振興会での取りまとめをお願いしている。山倉の修理等では補助金を活用いただける場合があるが、保存振興会を通じて市に要望いただくよう、お願い申し上げます。</p> <p>⑤ 専門職員が現場に伺い、実物を見させていただいた上で、保存方法等について、ご提案させていただくことが可能と考える。お話を詳しくお聞かせいただきたい。</p>
38	<p>東町公民館前に掲示板の設置をお願いしたい。市直接の掲示板設置事業または宝くじ一般コミュニティ助成事業で南筋のよく見える場所での設置の検討をお願いしたい。</p>	<p>市直接の掲示板設置事業については検討をしていない。宝くじの一般コミュニティ助成については、備品の購入が対象になっているため、申請を検討される場合は、市民活動推進課へご相談いただきたい。</p>
39	<p>区、町内への補助金は交付決定から支払いまでの間、区等の立替払いとなる。区、町内を対象とする補助金については、概算払い100%の補助金とするか、市内金融機関からの一時借り入れ融資制度を設けるよう求めたい。補助活用して事業を推進していけるよう取り図り願いたい。</p>	<p>補助金の交付の目的を達成するため必要があると認めるときは、事情により概算払いも可能であるため、担当課とご相談をお願いしたい。</p>
40	<p>町内伝統行事のオコナイ「仁皇経(ニギヨウ)」の伝承保存が大切である。記録資料の作成等に支援願いたい。</p>	<p>記録資料の作成等に向けて、専門職員がお話を詳しく伺い、ご支援することが可能と考える。</p>

4 1	<p>区から子ども会へ活動補助金を支出しているが区未加入世帯が増えていて、区加入世帯の子どもより未加入世帯の子どもの割合が逆転することが予想され、役員が苦慮している、未加入世帯の子どもの受益に対して今後どのように対処すべきかご教示願いたい。</p>	<p>区や自治会に加入していない世帯の子どもへの対応については、特に決められたルールはなく、地域事情によって異なっているのが現状であると認識しており、「地域の子どもは地域で学び育てる」という思いやりを持って、地域行事等へ寛容に迎え入れていただくことで、子どもたちの社会性と郷土愛が育まれると考えている。また、そのことで今後加入世帯が増加し、地域文化の保存や継承など、持続可能な地域社会の運営につながるものと期待している。</p>
4 2	<p>区や町役員のなり手がなく、諸課題や問題が解決できるようワークショップ等話し合いの機会をつくり、挨拶と交流、絆により活性化するまちづくりを進めたいが、その手法、他町内の組織例、活動例、先進事例などの資料等をご教示願いたい。</p>	<p>人口減少や少子高齢化が進む中、区役員の選出や市からお願いしている民生委員の選出などに苦慮いただいていることは認識している。そのため、市としても、市から地域にお願いをしている区の充て職の見直しや民生委員の選出などの庁内協議を進めることとしている。</p> <p>地域内での話し合い等も検討をいただいているようなので、市として支援させていただくことも含めて、担当の伴谷地域市民センターへご相談をお願いしたい。</p>